

第七十四回 帝國議會 貴族院 米穀配給統制法案特別委員會議事速記録第五號

昭和十四年三月二十四日(金曜日)午前十時十九分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 開會致シマス、

御質問ヲ續行願ヒタイト思ヒマス

○内田重成君 私ハ昨日商工大臣ニ御尋ネ

致シマシタ、本法ニ依ル行政上ノ各種ノ取

扱ニ關シテ、農林及ビ商工ノ兩省ノ職權ノ

範圍等ハ、將來ドウ云フ風ニ御考ニナッテ居

大體ハ兩省ノ共管デアル、而シテ其ノ中米

穀ノ買入其ノ他之ニ關聯スル業務ノ許可ハ、

地方長官ニ委任スル積リデアルト云フヤウ

ナ御答辯デアッタノデアリマス、私ハソレニ

付テ尙商工省ノ政府委員ニ御尋ヲ致シタイ

ト思フノハ、此ノ昨日モ申シタノデアリマ

スルガ、米穀配給ニ關スル仕事ノ大部分ト

云フモノハ商人ノ手ニ依シテ行ハレル、又是

ガ商事デアルト云フ關係カラシテ、商工省

ノ管轄下ニ屬スル事項ガ多數デアル、デ其

ノ他ニ又此ノ配給事業ニ關係スル者ニ、產

業組合ノ方面ノ關係モ生ジテ居ル、ソレカ

ラ商業組合ノ關係モアル、一方商業組合ハ

商工省ノ管轄スル所、產業組合ハ農林省ノ管轄スル所、而シテ其ノ取扱業者ハ商人デ

アル、日本米穀會社ハ商事會社デアルト云フコトニナリマスルト、仕事ノ大部分ト云フモノハ商工省ノ管轄下ニアルモノデアル、之ヲ法案ノ御説明ヲ始メシテ、大體將來ノ統制法ノ施行上ニ關スル仕事ハ、多ク農林省ノ所管ニ於テナサルモノノ如ク思ハルノデアリマスガ、之ニ付テハ寧ロ商工省側ノ御仕事ガ大部分デアルノデハナイカ、又其ノ方ノ勘キガ十分デナクテハ是ハ出來

ナコトニ對シテ、商工省ハドウ云フ風ニ考

シタ曉ニ於テ、兩省ガ共管デヤッテ居ルヤウ

ルルノデアリマスガ、之ニ付テハ寧ロ商工

省側ノ御仕事ガ大部分デアルノデハナイカ、又其ノ方ノ勘キガ十分デナクテハ是ハ出來

ナコトニ對シテ、商工省ハドウ云フ風ニ考

シタ曉ニ於テ、兩省ガ共管デヤッテ居ルヤウ

○政府委員(新倉利廣君) 只今御質問ニナリマシタ米穀ノ配給ニ關シテハ、從來商工ノ法案ガ提出サレマシテ、是ガ兩院ヲ通過

省ガ抜シテ居ツタノデアリマスルガ、今回此

ノ法案ガ提出サレマシテ、是ガ兩院ヲ通過

最近所謂統制經濟ト云フモノガ段々進ンデ参リマスルト、所謂生産者ニ對スル關係ト配給業者ニ對スル關係、更ニ進ンデハ消費者ニ對スル關係ト云フモノノ關係ガ非常ニ密接ニナッテ參リマシテ、生産者ガ非常ニ密接ニナッテ參リマシテ、生産者ハ配給業者ト云フ風ニ、ハ生産者、配給業者ハ配給業者ト云フ風ニ、別々ニ考ヘテ行クト云フコトハ非常ニ困難ナ情勢ニナッテ來ルト思ヒマス、從ヒマ誠ニ仰セノ通リニ商事ニ關スル行政ハ、大體商工省ガヤッテ居リマスシ、又今度ノ法案ガ通過致シマシテ、米穀商ニ關スル色々々ナ施設、又ソレト關聯シマシテ商業組合ノ關係、或ハ米穀市場ノ問題ト云フヤウナ點ニ御尋ブシタノデアリマスルケレドモ、將來政事務上ノ取扱方ニ付キマシテ、主トシテ御尋ブシタノデアリマスルケレドモ、將來此ノ仕事ノ目的ト業者ト其ノ關係ニ付テ此ノ仕事ノ目的ト業者ト其ノ關係ニ付テハ、商工省ガ重大ナ責任ヲ持ツベキ筋合ニ居ルモノト思ハレル、此ノ點ニ付テ唯一點ハ、商工省ガ非常ナ責任モアル、又關心ヲ持タナケレバ、產業組合ト商業組合トノ調和等ノ問題ニ付キマシテ、其ノ他商人ノ側ノ方ノ統制ニ付キマシテ、是ハ商工省ト居ルモト思ハレル、此ノ點ニ付テ唯一點ハ、商工省ガ非常ナ責任モアル、又關心ヲ持タナケレバ、產業組合ト商業組合トノ調和等ノ問題ニ付キマシテ、其ノ他商人ノ側ノ方ノ統制ニ付キマシテ、是ハ商工省ト

最近所謂統制經濟ト云フモノガ段々進ンデ参リマスルト、所謂生産者ニ對スル關係ト配給業者ニ對スル關係、更ニ進ンデハ消費者ニ對スル關係ト云フモノノ關係ガ非常ニ密接ニナッテ參リマシテ、生産者ハ配給業者ト云フ風ニ、ハ生産者、配給業者ハ配給業者ト云フ風ニ、別々ニ考ヘテ行クト云フコトハ非常ニ困難ナ情勢ニナッテ來ルト思ヒマス、從ヒマ誠ニ仰セノ通リニ商事ニ關スル行政ハ、大體商工省ガヤッテ居リマスシ、又今度ノ法案ガ通過致シマシテ、米穀商ニ關スル色々々ナ施設、又ソレト關聯シマシテ商業組合ノ關係、或ハ米穀市場ノ問題ト云フヤウナ點ニ御尋ブシタノデアリマスルケレドモ、將來此ノ仕事ノ目的ト業者ト其ノ關係ニ付テ此ノ仕事ノ目的ト業者ト其ノ關係ニ付テハ、商工省ガ非常ナ責任ヲ持ツベキ筋合ニ居ルモノト思ハレル、此ノ點ニ付テ唯一點ハ、商工省ガ非常ナ責任モアル、又關心ヲ持タナケレバ、產業組合ト商業組合トノ調和等ノ問題ニ付キマシテ、其ノ他商人ノ側ノ方ノ統制ニ付キマシテ、是ハ商工省ト居ルモト思ハレル、此ノ點ニ付テ唯一點ハ、商工省ガ非常ナ責任モアル、又關心ヲ持タナケレバ、產業組合ト商業組合トノ調和等ノ問題ニ付キマシテ、其ノ他商人ノ側ノ方ノ統制ニ付キマシテ、是ハ商工省ト

最近所謂統制經濟ト云フモノガ段々進ンデ参リマスルト、所謂生産者ニ對スル關係ト配給業者ニ對スル關係、更ニ進ンデハ消費者ニ對スル關係ト云フモノノ關係ガ非常ニ密接ニナッテ參リマシテ、生産者ハ配給業者ト云フ風ニ、ハ生産者、配給業者ハ配給業者ト云フ風ニ、別々ニ考ヘテ行クト云フコトハ非常ニ困難ナ情勢ニナッテ來ルト思ヒマス、從ヒマ誠ニ仰セノ通リニ商事ニ關スル行政ハ、大體商工省ガヤッテ居リマスシ、又今度ノ法案ガ通過致シマシテ、米穀商ニ關スル色々々ナ施設、又ソレト關聯シマシテ商業組合ノ關係、或ハ米穀市場ノ問題ト云フヤウナ點ニ御尋ブシタノデアリマスルケレドモ、將來此ノ仕事ノ目的ト業者ト其ノ關係ニ付テ此ノ仕事ノ目的ト業者ト其ノ關係ニ付テハ、商工省ガ非常ナ責任ヲ持ツベキ筋合ニ居ルモノト思ハレル、此ノ點ニ付テ唯一點ハ、商工省ガ非常ナ責任モアル、又關心ヲ持タナケレバ、產業組合ト商業組合トノ調和等ノ問題ニ付キマシテ、其ノ他商人ノ側ノ方ノ統制ニ付キマシテ、是ハ商工省ト居ルモト思ハレル、此ノ點ニ付テ唯一點ハ、商工省ガ非常ナ責任モアル、又關心ヲ持タナケレバ、產業組合ト商業組合トノ調和等ノ問題ニ付キマシテ、其ノ他商人ノ側ノ方ノ統制ニ付キマシテ、是ハ商工省ト

ニ副フコトデナイグラウカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯昨日モ仰セニナリマシタヤウニ、ザウスルコトニ依ッテ非常ニ事務ノ澁滞ヲ來シ、其ノ他意見ノ相違ト云フヤウナコトノ爲ニ色々支障ヲ生ズルト云フヤウナコトガアツテハナラナイト云フコトハ、我々モ十分今後ニ於キマシテ關心ヲ持チ、又注意ヲシテ行カナクチヤナラナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、從ヒマシテ昨日御話ノ各米穀業者ノ許可ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、ソレドヽ各地方廳ニ御願ヒスルト云フコトニ依ッテ、一々農林本省或ハ商工本省迄來テ、ソコデ決メルト云フヤウナ煩瑣ナ手續ハ省カウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ進ンデ居リマス。

○内田重成君 大體承ッタノデアリマスルガ、申ス迄モナク商工省ハ商人ノ福利増進、商業ノ隆盛、斯ウ云フモノニ付テ頭ヲ入レナケレバナラス、然ルニ此ノ法案ノ制定ノ理由ハ、米穀ノ圓滑ナル配給ト適正ナル價格ノ構成ヲ圖ルノガ目的デアル、此ノ商人ノ福利増進、商業ノ隆盛トカ云フ方ノ見地ニ立ッテ居ラス、所謂食糧政策デアル、從ツ承リタイ

○政府委員(新倉利廣君) 本法ガ提出サレルコトニナリマシテカラハ勿論ノコト、提出ニナリマス以前カラ、所謂米穀商方面ニ於キマシテ、本法案ノヤウナモノガ實現シタ場合ニハ、非常ニ米穀商ノ脅威トナルト云フモノニ付テハ餘リ關心ヲ持タナイ傾向ニナルノデハナイカト云フコトヲ考ヘル

ノデアリマス、ソレデ最近ニ於キマシテモ、此ノ法案ノ提出以來各米穀商ハ非常ニ恐レラナシテ、此ノ法案ハ全國多數ノ米穀商及ビ商業者ノ命取リノ法案デアルト言ッテ、之ノ阻止ノ運動ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、従シ申分ハ主トシテ産業組合ノ進出ニ依テ米穀商ノ從來ノ職業ヲ奪ハレテシマフ、從シテ米穀商ハ到底先々成立ツ目度ガナイ、即チ命取リノ理由デアルト云フコトヲ申スヤウデアリマス、是ハ商工省トシテモ相當ニ御研究ニナツタコトト思フ、自カラ産業組合竝ニ全國米穀商トノ摩擦ニ付テモ深キ關心ヲ持タケレバナラヌ問題デアルト思フ、是等米穀商ノ主張スル産業組合トノ將來ノ摩擦衝突、其ノ他競争ニ付テドウ云フ風ニ米穀商側ノ利害ヲ研究スルカト云フコトニ付テ、商工省ニ於テ是迄御研究ニ相成テ居ルコトガアリマスルナラバ、ソレヲ一ツ承リタイ

○政府委員(新倉利廣君) 本法ガ提出サレルコトニナリマシテカラハ勿論ノコト、提出ニナリマス以前カラ、所謂米穀商方面ニ於キマシテ、本法案ノヤウナモノガ實現シタ場合ニハ、非常ニ米穀商ノ脅威トナルト云フモノニ付テハ餘リ關心ヲ持タナイ傾向ニナルノデハナイカト云フコトヲ考ヘル

ノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、先日來ガ出來ルコトニ依ッテ、其ノ事ノミニ依ッテシテ、此ノ法案ハ全國多數ノ米穀商及ビ商業者ノ命取リノ法案デアルト言ッテ、之ノ阻止ノ運動ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、従シ申分ハ主トシテ産業組合ノ進出ニ依テ米穀商ノ從來ノ職業ヲ奪ハレテシマフ、從シテ米穀商ノ致命的ナ打撃トナルト云フヤウナコトハ、恐ラクナインデアラウト云フコトヲ農林大臣モ申サレテ居リマスシ、又コトヲ農林大臣モ申サレテ居リマスシ、又我々ガ考ヘテ見マシテモ、其ノヤリ方如何ニ依リマシテハ、サウ云フヤウナコトハ恐ラクナイデアラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯此ノ點ニ關スル所謂見方ト云フモノニ依ッテ色々考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ産業組合ト米穀商、或ハ米穀ト云ハズニ、中小ノリマスガ、米穀方面ニ於キマシテハ其ノ點ハ餘程重大ニ考ヘテ居ルヤウデゴザイマス、從ヒマシテ此ノ點ニ付キマシテハ、農林省ト能ク打合セマシテ、實際ノ實情ガ、此ノ米穀會社ガ出來ルコトニ依ッテ、所謂產業組合ト米穀商ノ間ニ相剋摩擦ヲ增加シナイヤウナ狀態デアレバ、勿論ソレデ宜シイノデアルケレドモ、若シモ此ノ會社ノ實現ニ依ッテ兩者ノ間ニ相剋摩擦ヲ增加スルヤウナ虞ガアルト云フヤウナ場合ニハ、其ノ會社方經營致シマスル市場ノ色々ナ構成ノヤリ方或ハ市場ノ所謂仕法、市場ノ取組ミマスル賣仕法ノヤリ方ト云フヤウナモノニ付テモ色々考ヘテ、兩者ノ間ニサシタル摩擦ノナイヤウニスルト云フ方針ヲ以テ進ンデ居リマス、ソレデハ各市場ニ付テドウ云フ風ナ方法ヲヤルカト云フコトニナリマスルト、ソレハ其ノ市場々々ニ依ッテ色々業組合ガ直グニ非常ナ進出ヲシテ、サウシテ米穀商ノ致命的ナ打撃トナルト云フヤウナコトハ、恐ラクナインデアラウト云フ、相違モ起ルデアラウト思ヒマスルガ、一例ヲ申シマスレバ、例ヘバ賣リマスルモノ、或ハ買ヒマスル單位數ヲ相當制限スルトカ、其ノ他マア色々ナ方法ニ依リマシテ、此ノ産業組合ト米穀商トノ間ニ摩擦ノナイガ限局サレルノデハゴザイマセヌデ、是ハ合ト米穀商、或ハ米穀ト云ハズニ、中小ノ商工業者トノ關係ノ問題ニナリマスルト、單ニ此ノ市場ノ開設ト云フコトダケニ問題ガ限局サレルノデハゴザイマセヌデ、是ハ急ニ一ツノ大キナ調査機關ヲ設ケテ、其處ニ、將來如何ニシテ圓滿ニシテ行ケルカト云フコトヲ能ク研究シテ方策ヲ立テタイト云フコトヲ能ク研究シテ方策ヲ立テタイト云フ、斯ウ云フ風ニ進ンデ居リマスルノ非考究ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居

ル次第アリマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 伊澤委員

○伊澤多喜男君 何カ大藏大臣ハ特ニ御註文ガアツテ來タノデヤナイノデスカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 大藏大臣ハ昨日ノ松村君ノ御質問ニ對シテ御答辯ニ見エタト考ヘマス

○伊澤多喜男君 ソレデハ私ハ控ヘテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 日本米穀株式會社ニ對スル政府ノ出資ニ付キマシテハ、將來適當ナル機會ニ於キマシテ一般會計カラ出資スルコトニ付テ善處スル考デゴザイマス

○伊澤多喜男君 私ハ大臣ガ御出デニナリマセヌカラ、ドナタカラ御答ヲ戴イテモ構ハヌノデアリマスガ、私ハ此ノ戰時下ニ於ケル食料ノ問題ニ付キマシテハ非常ニ憂慮ラシテ居ルノデアリマス、デ、内地、朝鮮、臺灣デ大キナ増産計畫ヲ立テ、居ラレマスケレドモ、ソレハ私ハナカ〜容易ニハ出來マイ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマスルケレドモ、努力スルナラバ、出來得ルダ

面的ニハナカ〜植エ得ナイ、ソレデ立體的ニ植ス、其ノ立體的ニ植ス方法トシテハ、此處ニゴザイマスガ、私ハ何カ新發明ノ方法デ以テ、サウシテ爲サルカト思ッテ拜見シマシタ處、別ニ大シテ新發明ノ方法モナイノデアリマス、デ、要スルニ從來執リ來ッタ方法ヲモット勉強シテヤルト、斯ウ云フコトニ歸著スルヤウデアリマス、處ガマア私ハ此ノ中ノ一事項ヲ取シテ申シマスト云フト、「螟蟲ノ被害大ニシテ特ニ誘蛾燈點火ノ要アリト認メラル、面積ニ付誘蛾燈ノ點火ヲ獎勵セントス」ト云フヤウナコトガアリマス、此ノ誘蛾燈ノ點火ト云フコトハ果シテエライ有效ナコトデアルカドウカ、是ハ私ハ自分ノ過去ノ經驗ヲ申上げテ見タイト思フノデアリマス、私ハ明治二十八年ニ大學ヲ出マシタ後地方官ニナリマシテ、ソレデ日本清戰爭ノ銃後ノ事ニハ地方官トシテ多少ノ盡力ヲ致シマシタ、ソレカラ日露戰爭ニハ勿論ノコトデアリマス、其ノ日露戰爭當時ノコトヲ此ノ一項ニ付テ假ニ考ヘテ見マスルト、當時ノ農商務大臣ハ非常ニ細力ナ訓令ヲ出シマシテ、サウシテ此ノ螟蟲驅除ノ爲ノ誘蛾燈トカ、ソレカラ矢張り短冊ルケレドモ、努力スルナラバ、出來得ルダ

ケテ、縣令デ之ヲ厲行シタノデアリマス、其ノ時ニ其ノ誘蛾燈ノコトニ付テ實ニ滑稽千萬ト言ヒマスカ、情ケナイコトガ起シタソアリマス、ト云フノハ、自分ハ當時福井縣ニ在職シテ居リマシテ、サウシテ熱心ニ農商務大臣ノ訓令ヲ奉ジテ、此ノ誘蛾燈ノ點火トニ向シテカラシテ、督勵、努力ヲ火ト云フコトニ居ラシテカラニ、督勵、努力ヲシタノデアリマス、或郡長ノ如キハ頗ル怠ケテ居ラシテカラシテ、ソレデ到頭私ハアナタハ御氣ノ毒ダケレドモ、罷メタ方ガ宜クハナイカト云フヤウナコト迄申シテ厲行シタノデアリマス、處ガ當時ノ農商務省カラ出張シテ參リマシタ農事ノ技師ハ、縣下へ遊ノデアリマスガ、其ノ時ニ何ト云フカト云フト、誘蛾燈ハ有害無効ナリト、斯ウ云フコトヲ縣下ニ講演シテ厲行シタノデアリマス、私ハ之ヲ聞イテ、實ニ怪シカラヌコトダ、農商務大臣ガ訓令ヲシテ、我々當時ノ學者ノ說ト云ヒマスルカ、農事試驗場邊ノ說ニ依リマスレバ、誘蛾燈ハ有害無效ダ、斯ウ云フ論決ニ達シテ居ラシタノダサウデアリマス、其ノ爲ニ私ノ經驗シタ其ノ事柄ハ明治三十七年ト記憶シテ居リマスガ、爾來最近ニ至ル迄同ジ說ガ行ハレテ居ラシタノデアリマス、處ガ近頃ニナツテ又誘蛾燈ハ有益ナリト云フコトニ、學者ノ說ナリ試驗場ノ考ヘ方ハ變々ラシイノデアリマス、茲ニ兎ニ角特ニ誘蛾燈ノ點火ヲ獎勵セムトスト云フコトガ書イテアリマスカラシテ、サウ云フ風ニ思ハレルノデアリマスガ、果

ケテ、縣令デ之ヲ厲行シタノデアリマス、ソレカラ私ハ其ノ技師ヲ縣廳へ來テ貰ヒマシテ、一體ドウ云フノダ、兎ニ角技術者トシテサウ云フコトヲ言ハレルコトハ御自由デアルカモ知レスケレドモ、農商務大臣ガ訓令ヲ出シテ、我々ガ兎ニ角之ニ罰則迄附ケテ厲行ヲシテ居ルノダ、其ノ時ニ如何ニ技術者ナリト雖モ勝手次第ニ在職シテ居リマシテ、サウシテ熱心ニ農商務大臣ノ訓令ヲ奉ジテ、此ノ誘蛾燈ノ點火トニ向シテカラシテ、督勵、努力ヲ火ト云フコトニ居ラシテカラニ、督勵、努力ヲシタノデアリマス、或郡長ノ如キハ頗ル怠ケテ居ラシテカラシテ、ソレデ到頭私ハアナタハ御氣ノ毒ダケレドモ、罷メタ方ガ宜クハナイカト云フヤウナコト迄申シテ厲行シタノデアリマス、處ガ當時ノ農商務省カラ出張シテ參リマシタ農事ノ技師ハ、縣下へ遊ノデアリマス、私ハ之ヲ聞イテ、實ニ怪シカラヌコトダ、農商務大臣ガ訓令ヲシテ、我々當時ノ學者ノ說ト云ヒマスルカ、農事試驗場邊ノ說ニ依リマスレバ、誘蛾燈ハ有害無效ダ、斯ウ云フ論決ニ達シテ居ラシタノダサウデアリマス、其ノ爲ニ私ノ經驗シタ其ノ事柄ハ明治三十七年ト記憶シテ居リマスガ、爾來最近ニ至ル迄同ジ說ガ行ハレテ居ラシタノデアリマス、處ガ近頃ニナツテ又誘蛾燈ハ有益ナリト云フコトニ、學者ノ說ナリ試驗場ノ考ヘ方ハ變々ラシイノデアリマス、茲ニ兎ニ角特ニ誘蛾燈ノ點火ヲ獎勵セムトスト云フコトガ書イテアリマスカラシテ、サウ云フ風ニ思ハレルノデアリマスガ、果

シテドウ云フ御考デゴザイマスカ、技術者カラデ宜シウゴザイマスカラ、御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(松村謙二君) 農務局長ガ參ツ
テ居リマスカラ、詳シク申上グマス

付テハ承知致サナイ所ガゴザイマスガ、過去ニ於キマシテ螟蟲ヲ防除致シマスルガ爲ニ、誘蛾燈ヲ點ケル方が宜イカ、誘蛾燈ヲ點ケルコトニ依ツテ却テ害蟲ヲ其處ニ誘致スルト云フ風ナコトガアリハシナイカト云フコトニ付テ、論争ノアリマシタコトヲ聞イテ居リマス、其ノ後各地方デ誘蛾燈ヲ獎勵致シテ居リマシテ、其ノ結果カラ見マシテ、誘蛾燈ヲ點火致シマスルコトニ依ツテ、螟蟲ノ防除ニ非常ニ有效ダト云フコトニ相成ツテ居リマスルノデ、過去ニ於テ色々ナ論争ガ行ハレ、過去ニ於テ今仰シャイマシタヤウナ翻譯ガアッタカト存ジマスルガ、今日ノ状態ニ於キマシテハ、技術者ノ間ニ於キマシテ誘蛾燈ヲ點火致シマスルコトヲ以テ、螟蟲ノ防除ニ有效ナリト云フコトニ付テ大體一致致シテ居リマスルノデ、各地方ニ於キマシテ相當ニ廣ク之ガ獎勵ヲセラレテ居リマスルヤウナ状態デゴザイマス、從ヒマシテ螟蟲ノ被害ヲ防除致シマスルガ爲ニ、誘蛾燈

ヲ廣ク點火スル、其ノ爲ノ助成ヲ致シマス
ルコトニ依ツテ、誘蛾燈點火ノ範囲ヲ廣クス
ルト云フコトニ付キマシテ、計畫ヲ立テ、
居リマスヤウナ次第デアリマス
○伊澤多喜男君 私ハ是ハ唯一例ニ申シタ
ノデアリマスガ、マダゴザイマス、ドウ云
フコトカト云フト、矢張リ當時ノ農商務大
臣ノ訓令ニ正條苗代ヲ縱横正條ニセヨト云
フ訓令ガアリマシタ、ソレデ我々ハ是モ矢
張リ罰則ヲ附ケテ縱横正條ト云フモノヲ非
常ニ獎勵シタノデアリマス、處ガ其ノ當時
或老農ガ熱心ニ縱横正條ハイケナイ、片正
條デナクチヤイカヌト云フコトヲ熱心ニ主
張スル老農ガアリマシタ、ソレハ明治四十一
二年ニ私ガ愛媛縣知事ノ時ニ其ノ說ヲ聞キ
マシタ、或時私ガ地方ニ出張シマスルト云
フト、滑谷ト云フ人デスガ、ソレガ私ニ面
會ニ來マシタ、サウシテ縱横正條ト云フコ
トハ間違ツテ居リマス、片正條ニシナケレバ
イケナイト云フコトヲ熱心ニ說カウトシタ
ノデアリマス、デ、私ハ自分ノ隨行ノ屬官
ニ、一體アレハドウシタノカト言ヒマシタ
處ガ、アレハ狂人デス、狂人ト言フト、ヲ
カシイノデゴザイマスガ、兎ニ角熱心家ト
シテチヨットフレテヲカシイノデスト云フ
コトデアリマシタカラシテ、私其ノ人ニ會

ハナカツタ、處ガ此ノ人ハ何遁トナク縱横正條ニ反對シテ片正條ヲ唱ヘタノデアリマス、サウシテ議會ナドニモ度々請願トカ建議トカ云フコトニ努メテ居ッタノデアリマスガ、狂人扱ニシテ、サウシテ我々共ハ聽キモ何モシナカツタ、耳ヲ掩フテ聽カナカツタ、處ガ私ガ愛媛縣ニ原種田ト云フモノヲ作ッテ、サウシテ西ヶ原カラ米作ニ付テノ日本ノ「オーネソリティ」デアル人ヲ技師ニ雇ッテヤッタノデアリマス、サウスルト、其ノ原種田デ縦横正條ヲヤラズニ、片正條ヲヤッタノデアリマス、デ、私ガ行ッテ見ルト、兎ニ角片正條デ、片ツ方ダケノ正條ヲヤッテ居ッテ、縦横ニヤラナイ、是ハトンデモナイコトダ、農商務大臣ノ訓令ニ反スルヂヤナイカ、縣令ニモ違反スルヂヤナイカ、所謂縣ノ一種ノ模範試驗場デアル、此ノ原種田ハ二ツノ目的ヲ持ッテ居ルノデアリマス、デ、其ノ當時私ノ作ッタ原種田ハ一ツノ模範試驗場ノヤウナ意味ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソコデ一體農商務大臣ガ熱心ニ獎勵シ、若シクハ強行シテ居ル此ノ縦横正條ヲヤルト云フコトハドウ云フ譯カト云フノデ、大變ニ私ハ小言ヲ言ッタ、サウスルト、其ノ技師曰ク、西ヶ原ノ試驗場デ研究シタ結果ニ依レバ、縱横正條ハイケナイ、片正條ガ宜シイ、デア

ルカラ、斯ウヤルノデス、斯ウ云フ説明ナ
ノデス、段々理窟ヲ聽イテ見マスト云フト、
成ル程縦横正條ハイケナイ、サウシテ片正
條ノ方ガ宜シイト云フコトガ私ニモ分リマ
シタカラ、マアソレハ君ノ言フコトハ能ク
分ル、分ルケレドモ、兎ニ角農商務大臣カラ
ラシテ訓令ヲ出シ、サウシテ我々モ縣令ヲ
出シテ、之ヲ強制シテ居ル時ニ、ドウモノソ
イツハ困ルカラ、斯ウ云フコトデ、ソレハ
了ツタノデアリマス、是モ少シ専門的ニ瓦リ
マスガ、只今デモ矢張リ縦横正條ハイケナ
クテ、片正條ガ宜シイト云フコトニナッテ
居ルノデアリマセウカ

リマシテ、我々共ハドノ位之ニ煩ハサレタ
カ分ラナイノデアリマス、ソレデ私ハ今ノ
ヤウナ誘蛾燈ノ如キモサウデス、縱横正條
ノ時モサウデス、兎ニ角或時ハ是非之ヲヤ
レト言フ、ソレカラ誘蛾燈ハ一番宜イ例デ
ス、非常ニ熱心ニ之ヲ獎勵シタ、サウシテ
明治三十七年頃カラシテ誘蛾燈ヲ有害無效
ナリト云フコトニ兎ニ角試験ノ結果ナリ學
者ノ說ナリ一致シテ、ソレカラシテ十年カ
十五年カ誘蛾燈ハ點ケナカッタ、處ガ最近ニ
ナツテカラ又誘蛾燈ハ有效ナリ、今斯ウ云フ
コトヲ大イニ獎勵シヨウツスル縱橫正條ニ
至ツテモ其ノ通り、其ノ外實ハ澤山アルノデ
アリマス、ソレデ斯ウ云フヤウナコトヲ爲
スッテ、私ハ是ガ宜イコトナラ宜イト言ヒマ
スケレドモ、是ガ果シテ宜イカ惡イカ分ラ
茲ニ舉げ來ツヤウナ方法ニ依ッテデス、サ
ウシテ立體的ノ大增產ト云フコトヲ御圖リ
ニナルト云フコトニ付テハ、私ハ非常ニ懸
念ニ堪ヘナイノデアリマス、ソレ故ニ自分
ノ體驗シタ所ヲ申シテ、農林當局ノ御注意
ヲ喚起シタイト思ツテ居リマス、私ハ斯様ニ
申シマスルノハデス、ドウモ其ノ先達テ來
ト云ヒマスカ、綠原君ノ御質問ニ農林大臣
ガ御答ニナツタ時ニ、何ヤラサウ心配シナク

テモ行ケサウナト云フコトヲ私ニ印蒙ヲ與
ヘタモノデスカラ、ソレハ非常ニ御考違ヒ
ダ、サウデヤナインダ、非常ニ御努力ニナ
ラナケレバイケナシ、御努力ニナラナケ
レバイカヌト云フコトノミナラズ、實ハ農
民ニ向ツテ非常ナ負擔ヲ負ハシテ、サウンテ
一面ニ於テハ米價ト云フモノハ最高價格ハ
兎ニ角止メデアルノデアリマスカラ、ソレ
デ農民ニ非常ナ無理ナコトヲ強ヒルノダト
云フヤウナコトヲ考ヘテ居ツタノデアリマ
ス、デ、之ヲモウ少シ最モヒドイ所ニナリ
マスト、臺灣デアリマス、臺灣ハドウナル
カト云フト、内地デハ、綠原君ノ申サレタ
通り、何トカシテ最低モ最高モモット上ゲ
ナクチヤナラヌ、是ハ私モサウ思ツテ居リ
マス、處ガ其ノ場合臺灣デハドウスルカト
云フト、一石ニ付テ二圓兎ニ角取上ゲルノ
デ、一圓ト言ツテ居リマスケレドモ、私ノ色々
ナ調ニ依リマスト二圓ドコロデヤアリマ
セヌ、恐ラク四圓以上ダラウト思ヒマス、
サウ云フコトヲシテ兎ニ角私ガ先達テ申シ
タヤウニ「コン・パス」ヲ短クシテ、サウシテ今
アリマス、足ヲ縛ツテ走レト云フコトヲ命ズルノデ
ル、サウ云フ一體無理ナ政治ト云フモノガ
アリマス、養蠶、蠶種、養蠶、生絲ハ農林省
デ御扱ニナリマシテ、工業ト云フ方面カラ
言ヘバ、當然商工省デ扱ハナケレバナラヌ、

トニ付テハ此ノ點ニ付テハサウ考ヘテ居リ
マス、尙伺ヒタイコトガゴザイマスガ、農
林大臣ト拓務大臣ガ御出席ニナツテカラ、私
ハ質問致シマス
○瀧川儀作君 共管ノ問題ニ付テ御尋ネ致
シマス、地方長官ニ委任サレタ範圍ヲキッパ
リト伺ツテ、先刻ノ局長ノ御話ハ明瞭ヲ缺イ
タヤウニ思ヒマスノデ、能ク分リマセヌデ
シタカラ、伺ツテ置キタイ、過日私ノ質問ニ
對シテ農林省ノ御答ハ新設會社ハ農林省ノ
所管ニ屬シテ居ルヤウニ伺ツテ居リマシタ
ノデアリマスカラ、私ハ此ノ問題ガ出ル毎
ニ一向商工省方面カラ當然御答辯、御說明
下サラナケレバナラヌコトヲ一言モ發セラ
レナイノデ、不思議ニ感ジテ質問ヲ致シタ
ノデアリマス、サウスルト、農林大臣ノ御
答ハ立派ニ農林省ニ移管シタ風ニ私ハ承
タノデアリマス、前刻内田委員ノ御質問
中ニモサウ云フ風ニ御伺ニナツタヤウデアッ
タノデアリマス、商工大臣ガ參リマシテノ
御答辯ハ完全ニ共管デアルト云フコトヲ申
シナルノデアリマス、例ヘバ生絲ノ問題デ
アリマス、養蠶、蠶種、養蠶、生絲ハ農林省
デ御扱ニナリマシテ、工業ト云フ方面カラ
言ヘバ、當然商工省デ扱ハナケレバナラヌ、

處ガ是ハ矢張リ農林省ノ御管轄ニナツテ居
ル、ソレカラ製品ニナツテ輸出貿易トナツテ
來ルト、今度ハ商工省ニ行ク、無論生絲取
引所ハ商工省ノ管轄デアリマスガ、サウ云
フコトニナツテ居リマス爲ニ、一つノ小サナ
件デモ兩省ニ往復シナケレバナラヌ、誠
ニ複雜デアル、一方ニ移管サレタモノト看
做シテ、私ハ何等ノ質問ヲ申上ゲナカッタノ
タ方ガ宜イノデ、取引所ト云フモノハ無ク
ナルノデアリマシテ、後ヘ取引所ノヤウナ
モノガ残リマスガ、是ハ取引所トシテ御扱
ニナルモノダト、斯ウ私ハ實ハ考ヘテ居ル
ノデ、商工當局ハ何十年、何百年此ノ問題
ヲ管轄サレル役所デアッタニ拘ラズ、一言モ
我々ノ爲ニ辯ゼラレナカッタノデ、私ハ非常
ニ不深切ナコトデアッタ思ツテ居リマスガ、
御兩省御協議ノ結果纏メテ御答辯ヲナサツテ
居ルコトニ解釋シテ、沈黙ヲ守ツテ居ツタノ
デアリマスガ、共管ニナリマシテ、地方長
官ニ一部ヲ委託ナサレマスト、我々ハ商工
省ニ參ル、農林省ニ參ル、地方廳ニモ參ル
三箇所ニ又往復シナケレバナラヌノデアリ
マスガ、チョットシタ問題デモナカ／＼一回、
二回デ片附クモノデハナイ、地方ノモノハ非
常ニ困ツテ居ル、此ノ米穀ノ問題ハ大キナ間

題デ、長イ期節ニ涉ツテ居リマスカラ、無理モナイノデアリマスガ、之ヲ調べテ見マスルト、地方カラ此ノ米穀ノ問題ダケデ集會致シマシタノハ、私共ノ關係取引所カラ來タモノデ二百何十回ト云フモノヲ集會シテ居ル、サウシテ所謂此ノ間申上ゲタ通り、終ヒ方ニ土俵際デ土俵投ゲラ喰ラッタヤウナ關係ニナツテ居リマスガ、サウ云フヤウニ民間デハツノ問題ガ起ルト、騒イデ居ル、役所ニ往復スルノニハ、一回、二回デ解決シナイコトガ澤山アリマスノデ、成ルベク是ハ簡便ニシテ戴キタイト思フノデアリマス、サウ云フ意味合カラ、ドノ程度ニ地方長官ニ委託サレルノデアリマスカ、分リマセヌガ、總デスカリ地方長官デヤラレルト云フコトニナレバ、ソレハ非常ニ便利ハ宜イノデアリマスガ、サウデナク、從來ノ通リ農林省ニモ行キ、商工省ニモ行キ、又地方長官ニモ行クト云フコトニナリマシテハ、是ハナカノムヅカシイ、能率關係カラ行キマシテモ困ルノデアリマスガ、其ノ點ハキッパリトツ同ツテ見タイ、其ノ上更ニ申上げタイト思フノデアリマス。

○政府委員(松村謙三君) 御話通り、獨リ省ノ意見ノ違ヒマスコトモ澤山アリマス、他ニ於テモ極メテ行政上各省ニ互ツテ居ルノデ、複雜デアリマスコトハ、御話ノ通りデアリマス、之ヲツニ纏メマスコトハ、行政ノ簡易化ヲ圖リ、政策ノ徹底ヲ期スルノニハ非常ニ必要ト思ヒマスケレドモ、是ハ又別ノ問題デアリマシテ、此ノ米穀統制法ニ於キマシテハ、是ハ先般大臣モ申上ゲマシタ通りニ、大キナ部分ニ於キマシテハ共管ト云フコトニ、從來ノ沿革カラ致シマシテモ、左様ノコトニナツテ居ルノデアリマスガ、地方長官ニ委託致シマス主ナモノハ、是ハ大體業者ノ免許制度ノコトダケデゴザイマス、從ヒマシテ免許制度ニ付キマシテハ、農林省ト商工省ト協議ノ上ニ其ノ許可ノ方針ヲ地方長官ニ指示致シマシテ、ソレニ依ツテ地方長官限リニ於テ其ノ免許ヲ地方ノ事情ニ即シテヤッテ貰フト、斯ウ云フコトニ致スノデゴザイマス、其ノ他ニ付キマシテハ、地方長官ヘ移管ノ點ハナイ積リデアリマス。

○瀧川儀作君 能ク分リマシタガ、段々益々複雜性ヲ私ハ加ヘルヤウニ思ヒマスノデ、非難ヲ申上ゲル譯デハアリマセヌガ、當局モ御困リデアラウト思ヒマス、問題ニ依リマシテハ、關聯シタ問題デ、農林、商工兩省ノ意見ノ違ヒマスコトモ澤山アリマス、サウ云フ問題ガ起リマスト、ナカノ民間ノ營業者ガ困リマスノデ、何トカソレハ能ダマシタ、之ヲ一ツニ纏メマスコトハ、矢張リ私ハ先日御質問致シマシタ産業組合ト商業者トノ關係ニ付テ、最

率ノ上カラ見マシテモ必要ナコトデアリ、ガ殆ド悲鳴ヲ擧ゲテ居ルヤウナ問題ガ澤山アリマスノデ、サウムヅカシイ問題デアルヘ固メテ戴ク、成ルベク固メテ戴クヤウナマイト思ヒマスカラ、申合セデ一ツ何處カマシテモアルノカモ知レマセヌガ、法律上ウナコトモアルノカモ知レマセヌガ、法律上風ニ、官制ヲ變ヘナケレバナラスト云フヤウナコトモアルノカモ知レマセヌガ、法律上ノコトハ能ク分リマセヌガ、實業界ノコトデアリマスカラ、問題ガ成ルベク早ク簡明ニ解決スレバ宜シイノデアリマシテ、時間ノ争フ事業ガ皆多イノデアリマスカラ、其ノ邊ノ事情ヲ兩省ニ於テ御協議下スッテ、成ルベク一ツ之ヲ御研究願ツテ、簡易化ヲ圖ラレタイノデアリマス、當然掛カル時間ハ仕方ガナイガ、サウデナイト、我々ガ苦ムコトガ多イノデアリマス、實例ハ幾ラモアリマスガ、モウ會期モ迫ツテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フコトモウ申上ゲナイノデアリマスガ、ドウカ簡單ニ考ヘル位デナシニ、真剣ニヤツテ戴キタイト思ヒマス、是ハ又當一億七百萬圓ヲ全購聯ガ取扱シテ居ル、之ヲ漸次全購聯ガ取扱フコトニナル方ガ農村ニ取ツテ利益ト見ラレル、ソレハ確カニサウ見ラレル、サウスレバ、農林省ノ立場カラ言フナラバ、多々益々全購聯ヲシテ取扱ハシムシ又現在並ニ將來ノ商業ノ上カラ見タナラバ、全購聯デナイモノニ取扱ハセタクモア

○塚本清治君 サツキ内田委員カラ御尋ガ

アリマシタ商業行政ト農業行政ノ關係ト云割合、ソレニ付テ農林、商工兩省、殊ニ商

賣ニ關シテ、全產聯ト其ノ他ノモノノ取扱ノ

モ其ノ中ノ大キイ問題ト考ヘラレル肥料販

アリマスノデ、サウムヅカシイ問題デアル

戴キマシタ最近ノ販賣肥料ノ數量、金額等

ヲ拜見致シマスルト云フト、昭和十二年度

戴キマシタ肥料ガ取扱ヒマシタ肥料ノ

額ノ方ヲ申上ゲマス、三億七千萬圓ノ販賣

ノ邊ノ農村ニ於ケル肥料商ト云フモノ

通リ、地方農村ニ於ケル肥料商ト云フモノ

ハ漸次滅亡シテ參リマシテ、殘ル所ノモノ

モ無論影ガ薄クナツテ參ッテ居リマス、全國

的ニ見テ三億七千萬圓ノ販賣肥料高ノ中、

一億七百萬圓ヲ全購聯ガ取扱シテ居ル、之ヲ

漸次全購聯ガ取扱フコトニナル方ガ農村ニ

取ツテ利益ト見ラレル、ソレハ確カニサウ見

ラレル、サウスレバ、農林省ノ立場カラ言フナラバ、多々益々全購聯ヲシテ取扱ハシム

シ又現在並ニ將來ノ商業ノ上カラ見タナラバ、全購聯デナイモノニ取扱ハセタクモア

ノ衝突、摩擦ト云フモノヲドウ云フ風ニシテ行カレルカ、ソレハ先日來伺ッテ、結局ハ一大調査機關ヲ設ケテ、之ニ關スル根本的調査ヲスルト云フコトノ御答辯ニナツテシマツタノデアリマスルガ、抑、今日迄、現在ノ所ドウ云フ風ナ御方針デオイデニナルノカ、商工省ト農林省トノ間ニ於ケル謂ハシ力ノ強弱ニ依ツテ、往々ニシテ此ノ方針ガ左或ハ右スルト云フヤウニモ見エル、是ハ必ズシモ肥料ノ取扱ニ付テノミデナイ、一般ニ非常ニ廣イ産業組合ト、中小商業者トノ利益ニ於テ消長ガ伴ツテ來ル、ソコデ肥料販賣ニルノデアルカ、自然ニ放任シテアルノデスカ、其ノ大體ノ兩省ノ御方針ヲ承リタイ、同時ニ商工省ノ御意見ヲ承ッタ方ガ私共ハ大變參考ニナルト思ヒマス

商人ノ現在ノ状態ヲ産業組合ニ一時ニ奪ッテ
モ商工省トモ能ク御打合セラ致シマシテ、
農家ガ其ノ方ガ利益ダト云フコトデ、從來ト
ニ産業組合ガ發達致シテ行キマスコトハ已
ムヲ得マセヌケレドモ、一時的ニ業者ヲ止
メテシマフト云フガ如キコトハ、成ルベク
避ケタイト思フノデアリマス、從ヒマシテ
今度肥料モ、斯ウ云フ戰時ノ状態デアリマ
スカラ、或程度ノ統制ヲ加ヘマスガ、併シ
ナガラソレモ過去ノ實績ニ依リマシテ、產
業組合ト商業者トノ兩建デ矢張リ行クコト
ニナッテ、其ノ大本ヲ動カシテハ居リマセヌ、
併シナガラ此ノ戰時中ノコトニ付キマシテ、
今後肥料ノ配給ガ相當ニ困難ニナッテ來ル
場合ガアルト想像セラレマス、殊ニ外國力
ヲ入レテ來ネバナリマセヌ鱗鑑石デアリマ
ストカ、加里鹽デアリマストカ云フモノハ、
デアリマスカラ、從ヒマシテ高度ノ統制ヲ
相當ナ金額ヲ出シテ外國カラ入レテ來ルノ
之ニ試ミネバナラヌヤウナ場合ガ將來アル
ト致シマシタナラバ、其ノ時ハ今申シタヤ
ウナコトヲ考ヘテ居ルコトガ出來ナイ場合
ガ生ズルカモ知レマセヌケレドモ、根本ノ

考へ方ト致シマシテハ、業者ト産業組合トノ間ニ非常ナ急激ナ變化ヲ直チニ起スヤウナコトハ、農林省ト致シテモ考へテ居ラヌノデゴザイマス。——

○塚本清治君　急激ナ變化ヲ生ゼシムルヤウナコトヲシナイ、一時的ニ大ナル變化ノ生ズルヤウナコトハシナイト云フコトハ、レダケデ併シナガラ、私ノ質問ハマダ御答辯ヲ得タモノトモ思ハレナイ、ソレハ自然ニ委ス、自然ニ委スト云フ一つノ御方針ナラバ、ソレハ御意見トシテ承リマスガ、產業組合ノ方ハ申ス迄モナク、非常ニ大キナ機構ヲ持ッテ、全國的ニ系統的ニ、單位組合カラ全購聯ニ至ル迄、非常ニ大キナ組織ニアル、一大勢力、此ノ勢力ヲ以テスルト云フト、何事モ出來ナイコトハナイト、私ハ事實ニ於テサウ認メラレル、即チ今三億七千萬圓ノ販賣肥料ノ中、一億七百萬圓ヲ扱テ居ル、ソレハ三分ノ一弱デス、ソレヲ全購聯以下ノ產業組合ガ統制ヲ取ッテ、自分ノ方ニ漸次年々多ク取扱フコトニスルト云フコトハ、誠ニ私ハ易々タル業デアルト思フ、モ自然ニ委セルト云フノデアルナラバ、私一舉手一投足ノ勞ト云ッテモ宜イ、ソレヲシテ居ル、ソレハ三分ノ一弱デス、ソレヲ全購聯以下ノ產業組合ガ統制ヲ取ッテ、自分ノ八販賣肥料ノ中、全購聯以外ノ普通ノ商業モ自然ニ委セルト云フノデアルナラバ、私

者ノ扱フ數量ト云フモノハ、漸次……漸次
デヤナイ、大イニ急激ニ減ツテ來ル、一時的
ニ減ラナイケレドモ、其ノ減リ方ト云フモ
ノハ可ナリナ大キナ度テ以テ現レテ來ルト
思フ、サウ云フノデモ、矢張リ自然ノ趨
勢ニ委スト云フ御方針デアルノカ、今日ノ
所、農林省ハ產業組合ニ對シテ非常ニ努力
シテ居ル、各府縣ニ於テ府縣廳ノ役人ノ中
ニハ產業組合ニ關係スル者ガ非常ニ多イ、
ソレカラシテ產業組合自身ニ對シテモ有ラ
ユル便宜ヲ圖シテ居ラレル、サウ云フコトヲ
シテ行クナラバ、是ト同ジ品物ヲ扱フ商賣
人ト云フ者ハ、是ハ早晚、其ノ時期ハマダ
長イ先カモ知レマセヌガ、著シク虐ゲラレ
テ來ル、ソレハ併シナガラモウ此ノ社會ノ
趨勢ダト云フコトデ、ソレヲジット見送ッテ
行カレルト云フノデアルカ、ソレヲ伺ヒタ
イ、肥料ハ國民ノ主要食糧ノ農產物ノ上ニ
缺クベカラザルモノデアルト云フノデ、
之ガ購買ノ爲ニ組合ヲ組織セシムテ、而モ
全國的ニ系統ヲ立テ、非常ナ力強イモノニ
スル、ソレハ至極尤モデス、サウスルナラ
バ、又一方ニ於テ此ノ米ヲ食フ方、消費者
はハ云フ迄モナク主要食糧ナンデアルカ
ラ、此ノ米ヲ買フ方ノ消費者側ノ產業組合、

即チ全購聯ノヤウナモノニ於テ米ヲ買フ、共同シテ買フト云フコトヲヤルナラバ、是ハ又矢張リ米穀配給統制ノ上ニ於テ著シイ變革ガ起ル譯ニナル、ソレモ矢張リ自然ニ見送リナサル御方針デアルカ、今日迄ノ所、ドウ云フ譯ダカ、農村ニハ産業組合ヲ非常ニ勉強シテ農林省ハ獎勵セラレルガ、都會地ニ於ケル産業組合ハ割合ニ獎勵ガ届カナイ、或ハヤラレナイ、ソレハ又ドウ云フ譯デアルカ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、先ヅ自然ニ放任セラレルカドウカ、無論一大調查機關ノ出來タ後ノ其ノ結果ニ依ル方針ハ今伺フコトハ出來ナイデスガ、今日現在迄御執リニナツテ居ル御方針ヲ伺ヒタイ

○政府委員(松村謙三君) 其ノ點ニ付キマシテハ、産業組合ガ出來ナイ以前ノ肥料業者ト云フモノハ、地方ニ於キマシテモ相當ナ勢力ヲ占メテ居リマシテ、中ニハ肥料商ト高利貸トヲ兼ネテヤッテ居タト云フヤウナ非常ナ弊害モアツタ譯デアリマス、ソレガ産業組合ガ出來マシテ、ソレデ肥料ヲ取扱ッテヤラセマシタ際ニハ、相當ニ農林省トシテモ其ノ發達ニ努力ヲ致シテ來タコトハ勿論デアリマスガ、今日ニナリマスト販賣業者モソレ等ノ點ニ付テハ相當ニ改ツテ參リ

マシテモ、產業組合ト相對立シテヤッテ行ク
ト云フヤウナ考へ方ハイケナイノデ、是ハ
兩者が能ク協力シテ、即チ先程御話ニナリ
マシタヤウニ、現在ニ於キマシテ例ヘバ三
割ト七割ト云フヤウナ狀態デアルナラバ、
其ノ狀態ト云フモノヲサウ著シク變更ノ無
イヤウニヤッテ行キタイ、唯其ノヤッテ行ク
ニ付テ、自然ノ趨勢ト云フモノヲ全然何カ
外ノ力デ之ヲ阻止スルト云フヤウナ考へ方
デハゴザイマセヌデ、自然ノ趨勢ト云フモ
ノハ、勿論ソレニ依ルヨリ外ニ方法ハナイ
ケレドモ、併シ肥料ノ圓滑ナル配給ヲシ、
而モソレガ一定ノ口錢ノ中デヤッテ行クト
云フコトニハ、肥料商トシテモ十分一ツノ
組織ヲ持ツテヤレバヤッテ行ケルカラ、サウ
云フ考ノ下ニ從來ノ取扱方ト云フモノモ、
サウ急ニ變ラナイヤウナヤリ方デ行カウ、
斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、大體目下ノ
狀況トシマシテハ、其ノ間ニ急激ナ變更ヲ
生ズルコトモナイダラウト斯様ニ考ヘテ居
リマス

組合ト商業者トノ關係ノ將來ニ付テ常ニ憂
ヘテ居ルノデ、一例トシテ申上ゲタノデア
リマス、其ノ點ヲ先ヅ御承知ヲ願シテ置イテ、
モウ一度念ノ爲ニ伺ヒマスガ、全購聯ト
云フモノノ扱フ肥料ト、商賣人ノ扱フ肥料
ト云フ此ノ自然ノ趨勢、是ハ至極結構デ
シタ通り、非常ノ勢力ヲ持ツテ居ル、而シテ是
ガ今ハ一億七百萬圓ノ取扱高デアルガ、一
億一千萬、一億三千萬ニシヨウト云フコト
ハ、私ハ非常ニ容易イコトニアラウト思
フ、ソレデ農林富局ハ能ク御承知ナンダラ
ウト思ヒマスガ、產業組合ナシカニ於テハ
隨分理事者ニ於テ農民ニ賣付ケルト云フ弊
ハアル、高イトカ廉イトカ、質ガ良イトカ惡
イトカ云フコトハ農民ハ多クノ者ハ能クハ
分ラナイ、判別ガ困難デアリマス、サウ云
フ時ニ矢張リ村ノ產業組合ニ於ケル理事者
ガ相當有力ナモノデアル爲ニ、其ノ有力者
ノ言フ所ニ從テ買ヒニ出ルト云フコトハ、
隨分產業組合ニ伴ツタ弊トシテ全國相當範
圍ニ行ヘレテ居ル、斯ウ云フコトノ取締ハ
一方ニヤラナケレバナリマセヌガ、ソレニ
シテモ全購聯ノ勢力ヲ以テスルト云フト、

○政府委員(松村謙三君) 其ノ點ハ、第一
ハ今日ノ全聯農ノ資力及ビ其ノ組織ニ於キ
マシテ、一時ニソレ以上ノ大キナモノヲ直
グ取扱ヒ得ナイコトモ一ツノ原因デアリマ
ス、急ニ發展スルコトガ出來ナイト云フコ
トガ一つノ原因デアリマス、ソレカラ今日
ノ肥料ノ問題、主ナモノハ御承知ノ通り硫
安デアリマスガ、是モ過去ノ實績ヲ基ト致
シテ居リマシテ、大體ソレニ基イテ配給ヲ
致シマスカラ、產業組合バカリヘウント餘
計ヤルト云フコトハ出來ナイ組織ニナシテ
居リマスカラ、ソレニ依ッテ大體產業組合ノ
活動範囲ガ定メラレル譯デアリマス、ソレ
カラモウ一つハ、有機質ノ肥料ハ是ハ今日
ノ所デハ或ハ豆粕デアルトカ、飼デアルト
カ云フモノハ統制ヲ取ッテ居リマセヌカラ、
是等ノ仕入ハ商人ト同ジク全聯農モ上手ニ
買フカ、下手ニ買フコトニ依ッテ非常ニ違ヒ
マスノデ、是ハ自由ナ立場ニ置カレテ居ル
トスウ云フ譯デアリマス、從ヒマシテ其ノ
外ニモ過磷酸ノ割當ニシマシテモ、硫安ト
アルノカドウカ、ソレヲ伺ヒマス

ニ依ツテ現在ノヲ急ニ増加サセナイダケノ
コトハ出來得ルト思ヒマス、尙又農林省ノ
行政的ノ方法ニ依リマシテモ、之ヲ監督シ
抑制スルコトモ出來得ルノデアリマスガ、
御話ノ通り高クテモ産業組合ノ力デ賣付ケ
ルト云フ弊ハ御話ノ通りニアルダラウト思
ヒマス、是ハ農林省ノ方ノ指導ニ依リマシ
テ、サウ云フコトノナイヤウニ除去シテ行
カナケレバナラナイ、ソレニ力ヲ盡シタイ
ト思ツテ居リマス

フ場合ニ於テ産業組合ガ非常ニ努力ヲ持ツテ、而モ政府カラ非常ナ力ヲ與ヘラレテ居ガ多イ、商業者ニ對シテ商工省ノ助成モ行ハレテ居ルノデアリマスケレドモ、私ノ觀ル所ニ依リマスト云フト、商業者ニ對スル助成ノ方ガ産業組合ニ對スル助成ヨリモ少イノデヤナイカ、商業者ハ非常ニ多イ、サウシテ弱イ地位ニ立ツテ居ル、サウシテ産業組合ハ非常ニ組織的デアル、此ノ間ノ關係ヲドウ云フ風ニ見テ居ラル、カ、商業者ガ多イカラ之ヲ減スコトガ出來ルナラバ非常ニ理想的ダト思ヒマスケレドモ、ドウ云フ風ニ觀察セラレテ居リ、將來ドウセラルルカ、ソレヲ伺ヒタイ

ニ互ニ競争シテヤツテ行クノガ宜イノダト
云フヤウナ思想ガ、矢張リ商業者ニ對スル
行政ニ於キマシテモ自ラ支配シテ居ッタノ
デハナイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ
ス、併シナガラ茲數年來、商業者ノ困窮ノ
事情モ非常ニ強ウゴザイマス、其ノ他又統
制經濟ノ發達ト云フヤウナコトモ關聯致シ
マシテ、商業者ノ方面ニ於キマシテモ、單
ニ互々ニ競争シテ行クト云フヤリ方デハ到
底今日商業者ノ地位ヲ保ット云フコトハ出來
ナイ、加之、此ノ統制經濟ニ協力スルト云
フコトモ亦出來ナイト云フ意味ニ於キマシ
テ、最近所謂組織化ト云フコトガ段々進ン
デ參ツテ來テ居リマス、唯御話ノヤウニ商業
者ノ層ト云フモノガ、例ヘテ申シマスト、
一ツノ他ノ社會層カラ流込ンデ來ル場所ト
云フ風ニモ考ヘラレマシテ、商業者ハ困ル
困ルト言ヒナガラ、其ノ統計ヲ見マスト、
商業者ノ數ガ減ルト云フヨリモ、寧ロ增加
スルト云フヤウナ傾向ニアリマスルノデ、
此ノ數ノ問題ト云フモノハ、商業者ノ問題
ニ一番根本的ナ問題デアルト云フ風ニ我々
モ考ヘテ、又研究モ進メテ居ル次第デゴザ
イマス、從ヒマシテ商業者ニ付テ或程度ノ
許可制度ト云フヤウナコトニ依リ、數ノ制
限ト云フコトモ研究ハサレテハ居リマスケ

レドモ、全般的ニ之ヲ直グニヤルト云フコトガ、一面ニ於キマシテ昨日モ申ジマシタヤウニ、大キク申シマスレバ日本ノ人口問題、或ハ他ノ社會層トノ關係、所謂社會問題ト云フヤウナコトモ十分考慮シマセヌト、單ニ商業者ノ立場カラノミ直グニ商業者ノ數ヲ全般的ニ制限スルト云フコトモナカナカ困難ナ問題デハナイダラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ研究シテ居リマスケレドモ、今直グニ斯ウスルノダト云フコトノ結論モマダ得テ居ラヌヤウナ次第デアリマス、サウ云フヤウナ次第デゴザイマスガ、先程モ申上げマシタヤウニ一面ニ於キマシテハ、漸次商業者ノ組織ヲ作ツテ參リマシテ、ソレノ自ラノ力デ出來ルダケ自分ノ地位ノ擁護ト云フコトモ致シ、又一面ニハ國ノ方策ニ協力スルト云フコトモヤラセル方面ニ、尙一段ノ努力ヲシナクテハナラナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○政府委員(新倉利廣君) 新設ノ米穀會社ノ方ハ、農林省ト共管デヤツテ見タイト思ツト……

○瀧川儀作君 取引所ノ關係ハ……

○政府委員(新倉利廣君) 取引ト申シマス

○瀧川儀作君 延取引ト云フヤウナモノガ残リマスガ、サウ云フヤウナモノガ矢張リ商工省デ御扱ニナルノデスカ

○政府委員(新倉利廣君) 新會社ガ經營致シマスル市場ノ事柄ニ付キマシテハ、農林、商工ガ共管デヤツテ行クノデス

○瀧川儀作君 サウスルト農林省ガ主管ニナル譯デスカ

○政府委員(新倉利廣君) 兩省ノ共管ナンデス

○瀧川儀作君 我々ハ手續上ドチラヘ行クタラ宜イ譯ニナルノデスカ

○政府委員(松村謙三君) ソレハ共管デ大體行ク譯デゴザイマスガ、併シ此ノ米ノ統制ノ問題ハ農林省ノ方デヤツテ居リマスノデ、專ラ私ノ方デヤリマスケレドモ、管理リハ無論只今商務局長ノ言ハレタ通りニ兩省ハドウナツテ居リマスカ

共管デ行ク譯デゴザイマス

○瀧川儀作君 サウスルト、取引ニ類似シタヤウナ問題ヲ總テモウ農林省へ移管サレタト見テ宜シイノデアリマスカ、我々ガ出

入リスル役所ヲ聞キタイノデアリマス

○政府委員(松村謙三君) 移管サレタト云フコトハゴザイマセヌ、無論共管デゴザイマスガ、主トシテ之ニ對スル發案ヲ致シマスモノハ農林省デヤル積リデ居リマス

○瀧川儀作君 発案ハ能ク分リマシタガ、事務ハ農林省ノ方デ御取ニナルノデスカ

○政府委員(松村謙三君) 大體左様デゴザイマスガ、事務ノ統一ニ付キマシテハ、兩省能ク相談ヲ致シテヤル積リデ居リマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 之ヲ以テ休憩致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會致シマス

○伊澤多喜男君 私ノ午前ノ質問ニ對シテ御専門ノ方カラ何カ御答ガゴザイマスカ

○政府委員(松村謙三君) 只今農產課長ガ参リマシテ、技術的ニ御答ヘ申上ゲルコトニナツテ居リマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 農產課長ハ説明員デアリマスカラ、發言ヲ許可シテ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵酒井忠正君) 農產課長

○説明員(森肆君) 午前中ノ御質問ニ付キ

マシテ、極ク簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、

第一ハ螟蟲……稻作ノ螟蟲ニ對シマスル點

火誘殺ノコトデアツタ思ヒマス、是ハ御尋

ノ通り明治ノ二十年代カラ一時獎勵ヲ致シ

タノデアリマス、一部分ハ稻作ノ本田ニモ

實行致シマシタ思ヒマスガ、當時ハ大部

分ハ苗代ノミニ付テ點火ヲ實行致シタノデ

アリマス、處ガ效果ガ十分デアリマセヌ爲

ニ一時中絶ヲ致シタノデアリマス、ガ併シ

研究ト致シマシテハ其ノ後モ螟蟲ノ光ニ向

ヒマスル趨光性ヲ利用シテ、出來ルダケ簡

單ニ驅除ヲ致シタイト云フ希望ヲ捨テマセ

ズニ、研究ヲ續ケテ居ツタノデアリマス、昭

和二年カラ始メマシテ實地ニ少シ規模ヲ大

キクシマシテ點火誘殺ノ實驗ヲ致シタノデ

アリマス、前ハ主トシテ苗代ニ行ヒマシタ

モノヲ、寧ロ苗代ヨリモ本田移植後ニ於テ

普通二化螟蟲ハ二回、三化螟蟲ハ三回、發

生致シマスル本田期ニ於ケル二化螟蟲ニ

對スル第一化期ト第二化期、三化螟蟲ニ對

シマシテハ、第一化期ハ苗代期ニ既ニ經過シテ居リマス、專ラ第二回ト、第二回ニ點

火誘殺ヲスルト云フコトヲ實驗致シマシタノデアリマス、其ノ結果非常ニ實驗的ニ好

結果ヲ舉ゲマシタ、電燈誘殺ニ依リマスレバ、大體三割以上ノ增收ヲ舉ゲル、石油、

「カンテラ」ニ依リマスルトニ増收

ノ舉ゲ得ルト云ヲ確信ヲ得マシタノデ、其

ノ成績ニ依リマシテ爾後愛媛縣、香川縣、京

都府、滋賀縣等ニハ既ニ相當ニ實行ヲ致シ

テ居ルノデアリマス、之ヲ十四年ノ稻作カ

ラハモウ少シ廣ク獎勵ヲ致シタノデアリマシテ、中頃中絶ラシ、又獎勵ヲ致スト

居リマスヤウナ次第デアリマシテ、一時獎

勵ヲシマシテ、中頃中絶ラシ、又獎勵ヲ致スト

云フ經過ヲ取テ居リマスコトハ御言葉ノ通

リデアリマス、一時研究ガ十分デアリマセヌ爲

居リマスヤウナ次第デアリマシテ、一時獎

ト云フコトニナリマスルト、縦横正條ニ植
エルト云フコトガ困難ニナリマス、從ツテ片
正條ニ致シマシテ、片方ハ規則的ナ正條植
ニ致サナイ、例ヘバ八寸ト八寸、或ハ一尺
ト一尺ト云フヤウニ粗ク植エマシタノ
ガ、株數ガズット殖エテ參リマスルト、南北
ニハ八寸ノ株間ヲ取ルガ、東西ニハ四寸ノ
株間ヲ取ルト、斯ウ云フコトニナリマスル
爲ニ自然片方ダケ正條ニシナケレバナラヌ、
斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、サウ
云フ地方ニ依リ、品種ニ依リ、栽培目的ニ
依ツテ兩方今日行ハレテ居ルノデアリマス、
全國ト致シマシテハ、矢張リ縦横正條ヲ獎
勵ヲシテ居ル場合方多イノデアリマスガ、
實際モ其ノ方ガ歩合ガ多クナツテ居リマス
○伊澤多喜男君 説明デ能ク分リマシタ、詰
リ昔ノ日露戰爭頃ノ農商務大臣ガ、是ハ確
カニ宣シイト信ジテ訓令ヲサレタコトハ、
兎ニ角三十七八年頃カラシテ昭和二年迄ハ
イケナカツタ、ソレデ兎ニ角中絶ト云ハレタ
ケレドモ、所謂有害無效デアルト云フコト
デ廢メテシマツテ、サウシテ又今度ソレガ宣
シイト云フコトニナツテ兎ニ角復活サレタ、
マア斯ウ云フコトデアリマス、私モ其ノ通
リニ思ツテ居リマス、今ノ第二ノ正條植ノ一
件モ大體左様デ、農商務大臣ハ、地方別ニ

矢張リ間違シテ居ッタト云フコトノ例トシテ、
私ハホンノ一例トシテ舉ゲタノアリマスガ、ソレモ
デ其ノ外我々ハ地方官トシテ幾多ノ苦イ經
験ラシテ居リマス、例ヘテ云ワナラバ、畜
産ノ獎勵ト云フコトデス、詰リ牛ナドハ、
殆ド畜産ノ技師ガ送ル毎ニ農商務省ノ方針
ト云フモノガ變ルノデス、或時ニハ「ホル
スタイン」ヲ獎勵スル、或時ニハ「ブライン
シュシ」ヲ獎勵スル、或時ハ「エヤーシャー」
ヲ獎勵スル、殆ド地方民ハ何ヲ一體ヤッタラ
宜イカト云フヤウナ風ニナリマシテ、ドノ
位之ニ惱マサレルカ分ラナイノアリマス、
サウ云フコトデアリマスカラシテ、私ハ今
サウ云フコトナゼ例ニ引クカト云フト、
茲ニ現ニ誘蛾燈ト云フモノガアッテ、ソレ
ガ非常ニ效果ガアルガ如クニ言ハレテ居ッ
テ、詰リ立體的ニ非常ニ増産ガ出來ルト云
フヤウナ風ニ言ハレテ居リマスケレドモ、
私ハ非常ニ疑ラ持ッテ居ルノアリマス、農
林省ノ惡口ヲ言フノガ何モ目的デアリマセ
ヌケレドモ、今日ノ如ク食糧問題ト云フコ
トガ非常ナ緊切ナ問題デアル時ニ、今ノヤ
ウナ風ナ、過去ノ例カラ云ヒマスレバ、只
今ノヤウナ當テニナラナイヤウナモノヲ當

テニナスッテ居ッタナラバ、非常ニ御後悔ナ
サルコトガアラウト、斯ウ云フ考カラ私ハ
申シテ居ル譯デアリマス、農林、拓務兩大臣
ガ御出席ニナリマシタカラシテ此ノ際ニ
寧ロ限ッテ言フナラバ米穀政策ト云フモノハ
内外地ヲ一貫シテ、サウシテ對策ヲ立テル
ベキモノデアルト云フコトヲ大分長イコト
論ゼラレマシテ、之ニ對シテ農林大臣ハ全
ク同感ダ、サウ云フ積リ居ル、斯ウ云フ
コトヲ御答ニナリマシタガ、尙改メテ兩大臣
ノ御出席ヲ仰イデ、私ハモウ一遍確メタ
イト思ッテ居リマスガ、先ヅソレヲ伺ヒマス
○國務大臣（櫻内幸雄君）只今御話ノヤウ
ニ、内外地ヲ一貫シテ米穀政策ヲ立テルト
申上ゲマシタヤウニ心得テ居リマスガ、詰
リ内地ト外地トノ密接ナ連繫ニ依リマシテ、
内地デ幾ラ生産シ外地デ幾ラ生産スルカト
云フコトノ計畫ヲ立テマシテ、其ノ計畫ニ
依ッテ内地ハ幾ラ作ル、外地ハ幾ラ作ツテ行
クト、斯ウ云フ建前デ計畫ヲ立ツテ居ルヤウ
ナ譯デアリマス、即チ一貫ト云フ言葉ヲ使ツ
タカドウカ記憶シマセヌガ、總アノ機構ヲ
同一ニスルト云フコトハ、其ノ事情ガ内地
ト外地トハ違ヒマスノデ、自ラ其ノ取扱機

機構ノ下ニ置クト云フコトハ、今直チニ出
來得ナイト思ヒマスケレドモ、免ニ角此ノ
生産ニ關スル所ノ方策ト致シマシテハ、之
ヲ内地外地一貫シテ計畫ヲ立テタイ、又立
テ、行ク考デアリマスト、斯ウ申上ゲルノ
デアリマス。

○國務大臣（八田嘉祐君） 只今農林大臣ヨ
リ御答ノアリマシタル通リニ拓務省ニ於テ
モ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ米穀需給
政策ノ内外地一貫ト云フコトニ付キマシテ
御答ノアリマシタル通リデアリマス、無論
外地ニ於キマシテソレヽノ制度ト云フモノ
ハアリマスケレドモ、其ノ需給關係ニ關
スル限リニ於キマシテハ有ユル方途ヲ講ジ
マシテ、特ニ農林省ト連絡ヲ執リマシテ、
我ガ國ノ食糧政策殊ニ米穀ノ政策ニ對シマ
シテハ、最善ノ力ヲ致ス積リデゴザイマス
○伊澤多喜男君 只今兩大臣ノ御答ノ通り
ト致シマスレバ、物ノ順序トシテハ所謂中
央デ大體ノ米穀政策ト云フモノヲ御立テニ
ナツテ、サウシテ其ノ線ニ外地ガ沿ウテ行ク
ノガ當リ前ダト思フノデアリマスケレド
モ、今ハサウナツテ居ラナイヤウニ思ヒマ
ス、是ハ色、事情ガアツタコトデ致シ方ナイト
思フ、私ハソレヲ責メル譯デハアリマセヌ

ガ、兎ニ角例ヘバ臺灣ノ米穀管理案ト云フ
モノヲ取ツテ見マスト云フト、是ハ臺灣デハ
米穀專賣ト云フコトニ付テ、相當前カラシ
テ當局者ノ間デハ研究サレテ居ツテ、サウシ
テ專賣局長ナドハ頻ニヤリタイト云フ考ヲ
持ツテ居ツタノニアリマス、ソレハドウ云フ
時代カト言ヘバ、詰リ米ノ豐作時代デ、非
常ニ内地デハ米ガ來テハ困ルト云フ時代デ
アツタノニアリマス、處ガソレガ其ノ儘傳ツ
テ來マシテ、サウシテ今日ノ米穀管理案ト
云フモノニナツテ來タヤウニ私ハ承知シテ
居リマス、デ今ノコトカラ考ヘマスレバ、
汎論ガ出來ナイ中ニ各論ノ方ガ出來テ來
タ、斯ウ云フ形ニナツテ居ルノニアリマス、
私ハ中央デ一貫セル米穀政策ヲ御立テニナツ
テ、其ノ線ニ沿ウテ出來タモノデハナイ
ノダ、是ハ歴史的ニサウ云フコトニナリマ
ス、ソレダカラシテ餘程無理ガ掛ツテ居ルト
思ヒマス、ノミナラズ詰リ米ノ氾濫時代ニ
考ヘタモノニ、今ノヤウニ米ハ一粒ノ米ト
雖モ兎ニ角殖サナクテハナラスト云フ時ニ、
其ノ儘ソックリデヤアリマセヌケレドモ、
其ノ最初ニ考ヘタモノニ特ニ引摺ラレテ、
一種ノ惰力デ來テ居ルノニアリマスカラシ
テ、ソレダカラ非常ナソコニ矛盾撞著ガ私
ハ起ツテ居ルト思フノニアリマス、デ是ハ他

ノ委員會デ頻ニ論ゼラレタコトニアリマス
カラシテ、私ハ多クハ申シマセヌケレドモ、
大體政府ハ將來ニ於テ兎ニ角米穀政策ヲ樹
立シテ、其ノ線ニ沿ウテ朝鮮ナリ臺灣ナリ
ヲ鬼ニ用律シア行ク、惡カッタラ直シテ行
クト云フ御考ガアルベキダと思ヒマスガ、
サウ云フ御考ハアルノデゴザイマセウカ
○國務大臣(櫻内幸雄君) 今伊澤サンノ御
話ノ從來中央ニ於テ一貫シタル方針ヲ立
テ、ソレカラ外地タル朝鮮、臺灣ト連絡
ヲ執ツテ、一つノ方策デ行クベキ筋合デアル
ノニ、從來ハソレト稍ニ異ニシテ居ルヤ
ウデアルト云フ風ナ御詰デアリマスガ、御
承知ノ通リ丁度朝鮮產米増殖ヲ中止シタ
リ、臺灣ノ水利事業ヲ中止シタリ致シタ時
ノ情勢ガ、矢張リ幾分残ツテ居ルト云フコト
ハ今御詰ノ通リデアリマス、併シ先刻申上
ゲマス通リ此ノ日本國內ノ米穀ノ需給調節
ニ付キマシテハ、農林省ガ臺灣ナリ朝鮮ナ
リニ篤ト御協議ラシテ、其ノ生産ヲシテ戴
ク數量ヲ決メテ、其ノ間ニ話合ヒラ十分ニ
付ケテ將來進ンデ行キタイト、斯様ニ考ヘ
テ居ルノニアリマシテ、從ヒマシテ從來相
分擔シテ一貫セル政策ヲ立テルコトハ、今
日迄モ努メテ來タノニアリマスガ、更ニ一
度、又臺灣總督府ニ於テノ、先日御協贊ヲ

申ス迄モナインノニアリマシテ、其ノ爲ニ内
外地ヲ通ジテ此ノ點ニ若シ何等カ缺陷ガア
リト致シマスナラバ、之ヲ是正シテ行クコ
トハ勿論致シタイト考ヘテ居ル所デアリマ
シテ、何等其ノ點ニ付テハ遲疑スルモノデ
アリマセヌガ、本法案ハ此ノ際トシテハ、
ハアリマセヌガ、本法案ハ此ノ際トシテハ、
内地トシテハ之ニ依ツテ配給ヲ統制シテ行
キタイ、ソレデ大體目的ヲ達スルデハナカ
ラウカト、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デ
アリマス、併シ今後ニ於テハ尙一層調査研
究シテ萬全ヲ期シタイト、斯様ニ考ヘテ居
ルノニアリマス
○國務大臣(八田嘉明君) 只今伊澤サンノ
御述ニナリマシタルヤウニ、過去ニ於テ外
地ト内地トノ關係ニ於キマシテハ、勿論有
無相通ジテ居ルノニアリマスルガ、必ズシ
モ只今伊澤サンノ仰シヤツタヤウナ風ニハ
ナツテ居ナカッタ場合モアルコトハ事實ダト
存ズルノニアリマス、先刻申上ゲマシタル
ヤウニ拓務省ト致シマシテハ、今後ニ於キ
マシテ更ニ一層内外地ヲ通ジマシテノ農林
省ニ於ケル對策ニ對シマシテ、外地ニ於キ
ノ米穀管理案ト云フモノハ非常ナ無理ナモ
ノダト思ヒマスカラシテ、ソレデ兎ニ角國
ノ米穀政策ト云フコトガ發見サレマシタナラバ、
御直シニナルト云フ御考ガアリマスカ、ソ
レハ臺灣總督府ニ及ス非常ニ大キナ點デア
リマスカラ、直チニ農林大臣ハ御考ニナツテ
ソレハ實行出來ルトハ思ツテ居リマセヌケ
レドモ、兎ニ角農林大臣ハ昨日サウ云フコ

ドヲ仰シヤツテ居ラレマスノデ、ソレデ矢
仰ギマシタ移出米管理案等モ、心持ハサウ
云フコトカラ出來上シテ居ルノニアリマス、
是等ノ點ニ付キマシテモ今後十分怠ラザル
關心ヲ持チマシテ、先程申上ゲマシタル原
則ニ副フヤウニ努メテ行ギタイト存ズル次
第ニアリマス
○伊澤多喜男君 私ノ間ノ仕方ガ惡カッタ
ノデセウガ、私ハ本案ニ付テ申シテ居ルノ
デヤアリマセヌ、大體米穀政策ト云フモノ
ヲ御立テニナツテ、其ノ中央デ出來タ米穀政
策ニ副フテ行クノガ本筋ダ、ソレガ實ヲ言
フト逆ニ來テ居ルノダ、ソレダカラシテ所
謂其處ニ非常ナ無理ガ掛ツテ居ルガ、本法律
案ト云フモノヲドウ直スト云フコトヲ申シ
テ居ルノニアリマセヌ、兎ニ角私ハ臺灣
ノ米穀管理案ト云フモノハ非常ナ無理ナモ
ノダト思ヒマスカラシテ、ソレデ兎ニ角國
ノ米穀政策ト云フコトガ發見サレマシタナラバ、
御直シニナルト云フ御考ガアリマスカ、ソ
レハ臺灣總督府ニ及ス非常ニ大キナ點デア
リマスカラ、直チニ農林大臣ハ御考ニナツテ
ソレハ實行出來ルトハ思ツテ居リマセヌケ
レドモ、兎ニ角農林大臣ハ昨日サウ云フコ

張リサウ云フ御考ハアリマスカト云フコトヲ伺ツテ居ルノデアリマス〇國務大臣(櫻内幸雄君) 従來ト雖モ外地ト内地ト連絡ヲ相當執ツテ居リマスガ、今更ニ一層緊密ナ連絡ヲ執リマシテ、若シ外地ニ於ケル所ノ生産ノ状態其ノ他ガ豫期ニ副ハザルヤウナコトガアリマスレバ、更ニ外地ニ於テサウ云フヤウニ御考究ヲ願ツテ、適當ナル方策ヲ講ジテ戴クト云フコトハ、ドウシテモ御願シナケレバナラヌコトト考ヘテ居リマス、只今ノ場合ニ於キマシテハ、現在ノ状態デ大體所期ノ目的ヲ達スルデハナカラウカト、斯様ニ信ジテ居ル譯デアリ

○伊澤多喜男君 政府ニ於テ私ノ只今申スヤウナ御考ガアルサウデアリマスカラ、ソレナラバ私ハ御参考ノ爲ニ、此ノ臺灣ノ米穀管理案ト云フモノニ付テ非常ナ無理ガアルト云フコトヲ、自分ノ考ヘ方デ述ベタイ、私ハ臺灣ノ米穀管理案ト云フモノハ惡意ノ惡政トハ思ヒマセヌ、サリナガラ善意デアルカモ知レマセヌケレドモ私ハ惡政ダト思ヒマス、モウ少シ言フナラバ、認識不足ノ爲ノ惡政デアルカモ知レヌト思フノデアリマス、サリナガラ其ノ島民ノ受ケル惡政ノ悪影響ト云フモノハ、假ニ善意デアッテモ、

灣ニ居タ经验カラ考ヘマスト云フト、臺灣ノ農民ノ聲ト云フヤウナモノハ、ナカヽ總督初メ總督府ノ役人ニハ分ラナイノデアリマス、ノミナラズ内地デモ農民ノ實情ト云フモノハ、知事トカ或ハ總務部長トカ、或ハ經濟部長トカ云フ人ニハ能ク分ッテ居ルカト云ヘバ、ナカヽ分リニクイノデアリマス、ソレガ言語ガ全ク通ジマセヌト言ヒマスカ、通ズル者ノ非常ニ少イ臺灣ノ如キ所デ、農民ノ聲ガドウシテ入り得ルカト云フコトニ付テハ、非常ナ困難デアリマス、ソレデ私ハ就任ノ初ヌニ地方官會議ヲ開イタ時ニ、兎ニ角自分ハ長イ間地方官ヲシテ居ツタケレドモ、眞ニ農民ノ聲ヲ聞クト云フコトハムヅカシイコトデアル、謂フナラバ最明寺時頼ガア、云フ態度ヲ執ツタノハ、ア云フ態度ヲ執ラナケレバ兎ニ角内地デモ農民ノ聲ト云フモノハ聞キ得ナイノダ、況ヤ臺灣ノ如キ言語ガ十分ニ通ジナイト云フヤウナ所デハ、到底農民ノ聲ト云フモノハ聞キ得ナイノダカラシテ、ソレデ私ハ其ノ云フノガ、是ガ此ノ臺灣ノ米穀管理案ノ出来タ經緯デアリマス、臺灣デモマダ足ラズ付ケテ、何モ言ハサヌヤウニシテ出來タト

果ハ同ジモノデアリマス、デ私ハ自分ガ臺灣ニ居タ經驗カラ考ヘマスト云フト、臺灣タカト云フト、成ルベクト言フカ、絶對ニ、ヲ抑壓、壓迫、事實ハ新聞雑誌ニ掲載ヲ禁止シテ反對論者ハドウシタカト云フト、臺灣デハ到底ドウスルコトモ出來ナイカラ、ソレダカラシテ内地ニ來テ反對論ヲ兎ニ角書キタイト云フコトデ、「パンフレット」ヲ出シマシタガ、サウシタナラバ其ノ「パンフレット」モ亦之ヲ發賣頒布ヲ禁止シタリ、尙差押ヘマシタ、尙甚ダシイノハ其ノ反對運動ヲスル人間ニハ、何カ「スペイ」ノ嫌疑ガアルトカ何トカ云フコトデ、之ニ對シテ私服巡査ヲ附ケテ、サウシテ一日置キ位ニ必居ツタケレドモ、眞ニ農民ノ聲ヲ聞クト云フコトハムヅカシイコトデアル、謂フナラバ最明寺時頼ガア、云フ態度ヲ執ツタノハ、ア云フ態度ヲ執ラナケレバ兎ニ角内地デモ農民ノ聲ト云フモノハ聞キ得ナイノダ、況ヤ臺灣ノ如キ言語ガ十分ニ通ジナイト云フヤウナ所デハ、到底農民ノ聲ト云フモノハ聞キ得ナイノダカラシテ、ソレデ私ハ其ノ云フノガ、是ガ此ノ臺灣ノ米穀管理案ノ出来タ經緯デアリマス、臺灣デモマダ足ラズ付ケテ、何モ言ハサヌヤウニシテ出來タト云フノガ、是ガ此ノ臺灣ノ米穀管理案ノ出来タ經緯デアリマス、臺灣デモマダ足ラズ尙御聽キニナルコトハ是ハ當然ノコトデ、無論御聽キニナラナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ云フ時ニ、總督府ノ役人カラシテ御聽キニナラナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ尙御聽キニナルノハ誰カラ聽クカト云フト、臺灣ニ關係ノアル紳士ト云ヒマスカ、或ハ事業家ト云フヤウナ人カラ御聽キニナリマス、是

モ私ハ普通ノ常識トシテ當然ノコト思ヒマス、併シナガラソレデハ鬼ニ角總督府ニ反対スル人ノ聲ハ聽ケマセヌ、總督府ノ役人カラ
聽イタリ、臺灣ニ事業關係ヲ持テ居ル人トカ、サウ云フ方カラシテ御聽キニナッタノデハ、此ノ反對論ト云フモノハ聽ケル筈ハアリマセヌ、ドウ云フコトカト言ヘバ、最近ノ實例ヲ申シマスト、御承知ノ通リ臺灣ニハ製糖會社ガ集リマシテ、糖業聯合會ト云フモノヲ作ツテ居リマス、此ノ人々ガ最近集ツテ或決議ヲシタ、ソレハドウ云フ決議ヲシタカト云フト、本案ニ反對ノ決議ヲシタ、何故ニサウ云フコトヲシタカト言ヒマスト、最初ハ所謂「カムチャ」、甘蔗デス、是ハ「カムチャ」ト言ツタ方ガ能ク分リマセウ、「シユガー・ケーン」、此ノ「カムチャ」ノ買上値段ト云フモノハ、別ニドウモシナイト云フコトガ最初ノ案デアッタノデアリマス、處ガアチラコチラカラシテ一體米ヲ二圓下ゲナガラ、デアリマスガ、サウ云フ非難モアリマスシ、ソレカラ若シヤ「カムチャ」ヲ其ノ言フ儘ニシテ置クナラバ、兎ニ角砂糖會社ハ數百萬圓モ、懷手ヲシテソレダケノ利益ヲ得ル、斯ウ云フヤウナ非難ガ頻リニ起ツテ來タノ

マス、色々議論ハアリマスケレドモ、要ス
ルニ最モ此ノ案ノ中デ無理ナノハ、何ト言ッ
テモ米一石ニ付テ二圓ヲ、何ト云フ言葉ヲ
用ヒテ宣イカ、沒政ト云フカ、臺灣總督府
ハ之ヲ取上ゲルト云フコトガ非常ナ無理ナ
コトナンデアリマス、詰リ我々ハ臺灣ニ居
ル時代ニモ、又其ノ後貴族院議員トシテ農
林省ノ所謂米穀委員ト云フヤウナモノヲ相
當ニ長イ間致シマシタガ、其ノ時ニ故人ニ
ナリマシタ上山満之進君、ソレカラ私、此
處ニ居ラレル有賀君ナドハ、必ズシモ同ジ
議論デアリマセヌケレドモ、大體ニ於テ米
ノ差別待遇ヲスルコトハ怪シカラヌト云フ
意味デ、頻リニ之ニ反対シマシタ、デマア
米穀統制案ガ出來、其ノ後自治管理法ガ出
來、サウシテ先ヅ差別待遇ト云フモノハ或
程度兎ニ角緩和サレテ居ルノデアリマスガ、
私ハ今日ノヤウナ時代ニナツテ來テカラニ、
相變ラズノ議論ヲ私ガスルカト言へバ、必
ズシモサウデハアリマセヌ、ソレダカラシ
テ一貫セル米穀政策ト云フモノヲ御立テニ
ナツテ、サウシテ其ノ線ニ副フテ、朝鮮、臺
灣が行クト云フコトニ付テハ、私ハ今日デ
ハ大體贊成シタイト思ツテ居ルノデアリマ
ス、以前デハ恐ラク反對シタデアリマセウ、
今日デハ私ハ贊成シタイト思ツテ居ルノデ

アリマス、ソユデ私が申シタイノハ、政府ノ方
方モ、他ノ方々モ、臺灣ト云フ所ハ熱ト光ニ
惠マレテ居ッテ、米ヲ作レバ非常ニ生産費ガ
少インダ、從ツテ百姓ノ懷工合ハ宜シイノダ
ト、斯ウ云フコトハドウモ蔽フベカラザル事實
トシテ鬼ニ角受取ツテ居ラレルノデアリマ
ス、ソレデ數字ハ色々ナ數字ガ出テ參リマ
ス、只今戴キマシタ數字モ此處ニアリマス
ケレドモ、私ハ數字ハ餘り得意デアリマセ
ヌシ、サウシテ煩雜デゴザイマスカラシテ
省キマスガ、鬼ニ角臺灣ノ生産費ト云フモ
ノト内地ノ生産費ト云フモノハ、一石ニ付テ
モノカラ……寧ロ私ノ友人ノ米ノ權威者ガ
ハ大變ニ違フノダト云フ風ニ皆サンガ必ズ
御考ニナルノデアリマス、處ガ私ノ調ベタ
モニカラ……寧ロ私ノ友人ノ米ノ權威者ガ
度一石ニ付テ一圓ヅツ取上ゲルト云フコト
ニナレバ、内地ノ農民ヨリモ臺灣ノ農民ノ
手取ノ方が少クナルト云フ數字ガ出テ居ル
ノデアリマス、茲デ私が政府ノ方ニ御承知
ヲ願ヒタイト思フコトハ、臺灣ハ熱ト光ニ
惠マレテ居ッテ、サウシテ非常ニ生産費ガ低
イト言ハレマスケレドモ、ソレハ一體ドウ
云フコトヲ仰シヤルノデアラウカ、何時デ
モ言ハレルコトガ、臺灣ト云フ所デハ米ガ
一年ニ二度穫レル、デアルカラ良イニ極ツテ

居ルノダ、斯ウ云フ方モアリマス、處方例
ヘバ御承知ノヤウニ内地ノ高知縣ニハ米ノ
二度穫レル所ガ彼此レ五千町歩位アリヤセ
スカト思ッテ居リマス、其ノ二度穫レル高知
縣ノ水田ハ、他ノ水田ト較ベテ見テ、賃貸
價格ガドンナニ高イカト云フコトヲ調べテ
見レバ、殆ド違ハナイノデアリマス、高知
縣ノ近所ノ所謂單作田ト云フモノト殆ド違
ハナイノデアリマス、其ノ他ノ地方ト較ベ
テモ大シテ違ハナイノデアリマス、唯臺灣
デハ米ガ二度穫レルト云フコトデ、イキナ
リ臺灣ノ生産費ガ非常ニ安イノダト云フ風
ニ片付ケラレルコトハ、私ハ非常ナ認識不
足ダト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ私ガ申
シタイコトハ、先達テ御調べ願ッタノハ一體
大當勞賃比較ト云フモノヲ内地ニ付テ御調
ヲ願ッタノデアリマス、内地デハ此ノ表ニ依
リマスルト、詰リ一人當ノ勞銀……是ハ一
ツノ私ハ能率ト云フコトニナリ得ルト思フ
ノデスガ、男ノ百ニ對シテ女ガ八十五……
大體八十七、八十八ト云フヤウニ、年ニ
依テ變ッテ居リマスガ、兎ニ角婦人ノ働く
テ居ル率ト云フモノハ、男ノ百ニ對シテ八
十五、八十七、八十八ト云フヤウナ非常ナ
大キナ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、處ガ臺

灣デハドウカト云フト、臺灣デハ婦人ハ大
部分ハ水田ヘハ入ラナイノデアリマス、福
建系ノ婦人ハ御承知ノ通リ纏足ヲシテ居ッタ
ノデアリマス、ソレ故ニ水田ニハ入り得ナ
ス、是ハ併シ極僅ナ人口デアリマス、サウ
云フコトデ兎ニ角内地デハ婦人ガ男ノ百ニ
姓ノ懷工合ハ好イノダト云フ風ニ御考ニナ
ルナラバ、私ハ餘程御考ヘ違ヒヂヤナイカト
對シテ八十八トカ八十五トカ云フ者ガ働くイ
テ居ル時ニ、臺灣デハ殆ド「ゼロ」デアル、
斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、「ゼロ」
ト云フコトハ少シ言ヒ過ギデゴザイマスガ、
非常ニ少イノダト云フ事實ハアル、ソレデ
マア例ヘバサウ云フヤウナコトニナリマシ
テ、唯二度穫レルカラシテ必ズ懷ロ工合ガ
好イトカ、ソレカラ米ヲ作レバ非常ニ生産
米作ニ於ケル男女別ノ所要労力、賃銀及一
シタイコトハ、先達テ御調べ願ッタノハ一體
大當勞賃比較ト云フモノヲ内地ニ付テ御調
ヲ願ッタノデアリマス、内地デハ此ノ表ニ依
リマスルト、詰リ一人當ノ勞銀……是ハ一
ツノ私ハ能率ト云フコトニナリ得ルト思フ
ノデスガ、男ノ百ニ對シテ女ガ八十五……
大體八十七、八十八ト云フヤウニ、年ニ
依テ變ッテ居リマスガ、兎ニ角婦人ノ働く
テ居ル率ト云フモノハ、男ノ百ニ對シテ八
十五、八十七、八十八ト云フヤウナ非常ナ
大キナ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、處ガ臺

灣デハドウカト云フト、臺灣デハ婦人ハ大
部分ハ水田ヘハ入ラナイノデアリマス、福
建系ノ婦人ハ御承知ノ通リ纏足ヲシテ居ッタ
ノデアリマス、ソレ故ニ水田ニハ入り得ナ
ス、是ハ併シ極僅ナ人口デアリマス、サウ
云フコトデ兎ニ角内地デハ婦人ガ男ノ百ニ
姓ノ懷工合ハ好イノダト云フ風ニ御考ニナ
ルナラバ、私ハ餘程御考ヘ違ヒヂヤナイカト
對シテ八十八トカ八十五トカ云フ者ガ働くイ
テ居ル時ニ、臺灣デハ殆ド「ゼロ」デアル、
斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、「ゼロ」
ト云フコトハ少シ言ヒ過ギデゴザイマスガ、
非常ニ少イノダト云フ事實ハアル、ソレデ
マア例ヘバサウ云フヤウナコトニナリマシ
テ、唯二度穫レルカラシテ必ズ懷ロ工合ガ
好イトカ、ソレカラ米ヲ作レバ非常ニ生産
米作ニ於ケル男女別ノ所要労力、賃銀及一
シタイコトハ、先達テ御調べ願ッタノハ一體
大當勞賃比較ト云フモノヲ内地ニ付テ御調
ヲ願ッタノデアリマス、内地デハ此ノ表ニ依
リマスルト、詰リ一人當ノ勞銀……是ハ一
ツノ私ハ能率ト云フコトニナリ得ルト思フ
ノデスガ、男ノ百ニ對シテ女ガ八十五……
大體八十七、八十八ト云フヤウニ、年ニ
依テ變ッテ居リマスガ、兎ニ角婦人ノ働く
テ居ル率ト云フモノハ、男ノ百ニ對シテ八
十五、八十七、八十八ト云フヤウナ非常ナ
大キナ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、處ガ臺

カラシテ支那人ガ可ナリ入ッテ居リマシタ
ガ、事變後ハドウナリマスカ、今朝鮮人或
ノナイ方ガ相當ニ私ハ多イノデナイカト思
フ、サウ云フコトガアルノニ拘ラズ、兎ニ角
ノデアリマス、ソレ故ニ水田ニハ入り得ナ
ス、是ハ併シ極僅ナ人口デアリマス、サウ
云フコトデ兎ニ角内地デハ婦人ガ男ノ百ニ
姓ノ懷工合ハ好イノダト云フ風ニ御考ニナ
ルナラバ、私ハ餘程御考ヘ違ヒヂヤナイカト
對シテ八十八トカ八十五トカ云フ者ガ働くイ
テ居ル時ニ、臺灣デハ殆ド「ゼロ」デアル、
斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、「ゼロ」
ト云フコトハ少シ言ヒ過ギデゴザイマスガ、
非常ニ少イノダト云フ事實ハアル、ソレデ
マア例ヘバサウ云フヤウナコトニナリマシ
テ、唯二度穫レルカラシテ必ズ懷ロ工合ガ
好イトカ、ソレカラ米ヲ作レバ非常ニ生産
米作ニ於ケル男女別ノ所要労力、賃銀及一
シタイコトハ、先達テ御調べ願ッタノハ一體
大當勞賃比較ト云フモノヲ内地ニ付テ御調
ヲ願ッタノデアリマス、内地デハ此ノ表ニ依
リマスルト、詰リ一人當ノ勞銀……是ハ一
ツノ私ハ能率ト云フコトニナリ得ルト思フ
ノデスガ、男ノ百ニ對シテ女ガ八十五……
大體八十七、八十八ト云フヤウニ、年ニ
依テ變ッテ居リマスガ、兎ニ角婦人ノ働く
テ居ル率ト云フモノハ、男ノ百ニ對シテ八
十五、八十七、八十八ト云フヤウナ非常ナ
大キナ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、處ガ臺

カラシテ支那人ガ可ナリ入ッテ居リマシタ
ガ、事變後ハドウナリマスカ、今朝鮮人或
ノナイ方ガ相當ニ私ハ多イノデナイカト思
フ、サウ云フコトガアルノニ拘ラズ、兎ニ角
ノデアリマス、ソレ故ニ水田ニハ入り得ナ
ス、是ハ併シ極僅ナ人口デアリマス、サウ
云フコトデ兎ニ角内地デハ婦人ガ男ノ百ニ
姓ノ懷工合ハ好イノダト云フ風ニ御考ニナ
ルナラバ、私ハ餘程御考ヘ違ヒヂヤナイカト
對シテ八十八トカ八十五トカ云フ者ガ働くイ
テ居ル時ニ、臺灣デハ殆ド「ゼロ」デアル、
斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、「ゼロ」
ト云フコトハ少シ言ヒ過ギデゴザイマスガ、
非常ニ少イノダト云フ事實ハアル、ソレデ
マア例ヘバサウ云フヤウナコトニナリマシ
テ、唯二度穫レルカラシテ必ズ懷ロ工合ガ
好イトカ、ソレカラ米ヲ作レバ非常ニ生産
米作ニ於ケル男女別ノ所要労力、賃銀及一
シタイコトハ、先達テ御調べ願ッタノハ一體
大當勞賃比較ト云フモノヲ内地ニ付テ御調
ヲ願ッタノデアリマス、内地デハ此ノ表ニ依
リマスルト、詰リ一人當ノ勞銀……是ハ一
ツノ私ハ能率ト云フコトニナリ得ルト思フ
ノデスガ、男ノ百ニ對シテ女ガ八十五……
大體八十七、八十八ト云フヤウニ、年ニ
依テ變ッテ居リマスガ、兎ニ角婦人ノ働く
テ居ル率ト云フモノハ、男ノ百ニ對シテ八
十五、八十七、八十八ト云フヤウナ非常ナ
大キナ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、處ガ臺

カラシテ支那人ガ可ナリ入ッテ居リマシタ
ガ、事變後ハドウナリマスカ、今朝鮮人或
ノナイ方ガ相當ニ私ハ多イノデナイカト思
フ、サウ云フコトガアルノニ拘ラズ、兎ニ角
ノデアリマス、ソレ故ニ水田ニハ入り得ナ
ス、是ハ併シ極僅ナ人口デアリマス、サウ
云フコトデ兎ニ角内地デハ婦人ガ男ノ百ニ
姓ノ懷工合ハ好イノダト云フ風ニ御考ニナ
ルナラバ、私ハ餘程御考ヘ違ヒヂヤナイカト
對シテ八十八トカ八十五トカ云フ者ガ働くイ
テ居ル時ニ、臺灣デハ殆ド「ゼロ」デアル、
斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、「ゼロ」
ト云フコトハ少シ言ヒ過ギデゴザイマスガ、
非常ニ少イノダト云フ事實ハアル、ソレデ
マア例ヘバサウ云フヤウナコトニナリマシ
テ、唯二度穫レルカラシテ必ズ懷ロ工合ガ
好イトカ、ソレカラ米ヲ作レバ非常ニ生産
米作ニ於ケル男女別ノ所要労力、賃銀及一
シタイコトハ、先達テ御調べ願ッタノハ一體
大當勞賃比較ト云フモノヲ内地ニ付テ御調
ヲ願ッタノデアリマス、内地デハ此ノ表ニ依
リマスルト、詰リ一人當ノ勞銀……是ハ一
ツノ私ハ能率ト云フコトニナリ得ルト思フ
ノデスガ、男ノ百ニ對シテ女ガ八十五……
大體八十七、八十八ト云フヤウニ、年ニ
依テ變ッテ居リマスガ、兎ニ角婦人ノ働く
テ居ル率ト云フモノハ、男ノ百ニ對シテ八
十五、八十七、八十八ト云フヤウナ非常ナ
大キナ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、處ガ臺

カラシテ支那人ガ可ナリ入ッテ居リマシタ
ガ、事變後ハドウナリマスカ、今朝鮮人或
ノナイ方ガ相當ニ私ハ多イノデナイカト思
フ、サウ云フコトガアルノニ拘ラズ、兎ニ角
ノデアリマス、ソレ故ニ水田ニハ入り得ナ
ス、是ハ併シ極僅ナ人口デアリマス、サウ
云フコトデ兎ニ角内地デハ婦人ガ男ノ百ニ
姓ノ懷工合ハ好イノダト云フ風ニ御考ニナ
ルナラバ、私ハ餘程御考ヘ違ヒヂヤナイカト
對シテ八十八トカ八十五トカ云フ者ガ働くイ
テ居ル時ニ、臺灣デハ殆ド「ゼロ」デアル、
斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、「ゼロ」
ト云フコトハ少シ言ヒ過ギデゴザイマスガ、
非常ニ少イノダト云フ事實ハアル、ソレデ
マア例ヘバサウ云フヤウナコトニナリマシ
テ、唯二度穫レルカラシテ必ズ懷ロ工合ガ
好イトカ、ソレカラ米ヲ作レバ非常ニ生産
米作ニ於ケル男女別ノ所要労力、賃銀及一
シタイコトハ、先達テ御調べ願ッタノハ一體
大當勞賃比較ト云フモノヲ内地ニ付テ御調
ヲ願ッタノデアリマス、内地デハ此ノ表ニ依
リマスルト、詰リ一人當ノ勞銀……是ハ一
ツノ私ハ能率ト云フコトニナリ得ルト思フ
ノデスガ、男ノ百ニ對シテ女ガ八十五……
大體八十七、八十八ト云フヤウニ、年ニ
依テ變ッテ居リマスガ、兎ニ角婦人ノ働く
テ居ル率ト云フモノハ、男ノ百ニ對シテ八
十五、八十七、八十八ト云フヤウナ非常ナ
大キナ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、處ガ臺

カラシテ支那人ガ可ナリ入ッテ居リマシタ
ガ、事變後ハドウナリマスカ、今朝鮮人或
ノナイ方ガ相當ニ私ハ多イノデナイカト思
フ、サウ云フコトガアルノニ拘ラズ、兎ニ角
ノデアリマス、ソレ故ニ水田ニハ入り得ナ
ス、是ハ併シ極僅ナ人口デアリマス、サウ
云フコトデ兎ニ角内地デハ婦人ガ男ノ百ニ
姓ノ懷工合ハ好イノダト云フ風ニ御考ニナ
ルナラバ、私ハ餘程御考ヘ違ヒヂヤナイカト
對シテ八十八トカ八十五トカ云フ者ガ働くイ
テ居ル時ニ、臺灣デハ殆ド「ゼロ」デアル、
斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、「ゼロ」
ト云フコトハ少シ言ヒ過ギデゴザイマスガ、
非常ニ少イノダト云フ事實ハアル、ソレデ
マア例ヘバサウ云フヤウナコトニナリマシ
テ、唯二度穫レルカラシテ必ズ懷ロ工合ガ
好イトカ、ソレカラ米ヲ作レバ非常ニ生産
米作ニ於ケル男女別ノ所要労力、賃銀及一
シタイコトハ、先達テ御調べ願ッタノハ一體
大當勞賃比較ト云フモノヲ内地ニ付テ御調
ヲ願ッタノデアリマス、内地デハ此ノ表ニ依
リマスルト、詰リ一人當ノ勞銀……是ハ一
ツノ私ハ能率ト云フコトニナリ得ルト思フ
ノデスガ、男ノ百ニ對シテ女ガ八十五……
大體八十七、八十八ト云フヤウニ、年ニ
依テ變ッテ居リマスガ、兎ニ角婦人ノ働く
テ居ル率ト云フモノハ、男ノ百ニ對シテ八
十五、八十七、八十八ト云フヤウナ非常ナ
大キナ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、處ガ臺

内地ノ資本家ガ之ニ投資ヲシナイカト云フ
コトデアリマス、私ノ調べタ所ニ依ルト、
所有シテ居ルトカ、若シクハ自分デ農場ヲ
經營シテ居ルトカ云フ人ハ一人モナイノデ
アリマス、之ニ反シテ、朝鮮ニハ、例ヘバ
三菱ノ農場トカ或ハ細川侯爵ノ農場トカ、
其ノ外澤山アリマス、内地ノ資本家ガ投資
シテ居ル農場ハ澤山アルノデアリマス、ソ
レカラ實際自分自身デ米作ヲシテ居ル内地
人モ澤山アリマス、處ガ臺灣デハ、投資家
モ一人モ居ズ、米作ニ從事シテ居ル人間モ
殆ドナイト言シテ宜シイ、私ガ總督ノ頃ニ、
自分で、西部海岸ニ於テ一人デモ米作ナリ
「カムチア」ヲ作ツテ居ル者ガアルカト思ツテ、
私ハ探シマシタ、何故ニ探シタカト言ヘバ、
ドウゾシテ自分が額ニ汗ラシテ農業ニ從事
スルト云フヤウナ人ガアリタイト云フノデ、
私ハ非常ニ探シタノデアリマス、處ガ不幸
ニシテ私ノ在職中ニハ、西部海岸ニ於テ農
業ニ從事シテ居ル者ハ一人モアリマセヌ、
仕方ガナイカラシテドウシタカト云フト、
何方アリサウナモノダト云ツテ探シマシタ
ラバ、兎ニ角「ポンカン」ヲ作ツテ居ル者ガア
リマシタ、菊池某ト言ヒ、是ハ確カ嘉義力
ラハ大分遠イ所ダト思ヒマスガ、其處迄纏

督自ラ例ノ轎ニ乘ツテ出カケテ行ツテ之ヲ獎勵シタ、オ前ハ感心ダ、兎ニ角額ニ汗ヲシテカラニ耕シタト云フコトハ感心ダト言ッテ褒メタコトガアリマス、要スルニ西部海岸ニ於テハ投資シテ居ル者ガナイノミナラズ、米ナリ砂糖ナリヲ作ッテ居ル者ハ一人モナイノデアリマス、是ハ一體何ヲ語ルカ、私ハ兎ニ角熱ダトカ、光ダトカ云フモノハ是ハ有難イモノデアリマス、サリナガラ熱ノ惠澤ガアルト同時ニ、熱ニハ矢張リ災厄ガアルト私ハ思ヒマス、ドウ云フコトカト言ヒマスト、兎ニ角何故ニ内地人ガ臺灣デ百二十度トカ云フ炎天デス、サウシテ米作ナドガナカ／＼出來ルモノヂヤナイノデアリマス、デ常ニ臺灣ハ熱ト光ニ恵マレテ居ッテ、サウンシテ「フォルモサ」或ハ蓬萊島ト云フヤウナコトヲ言ッテ、臺灣島民ト云フモノハ非常ナ幸福ナモノデアル、私ハ兎ニ角領臺後デス、御歴代ノ廣大無邊ナル御聖徳ニ依リ、又歴代ノ總督以下ノ努力ニ依ツテ、臺灣島民ノ幸福ト云ヒマスカ、福祉ト云フモノハ非常ニ増進シテ居ルト云フコトハ、私ハ無論認メテ居ルドコロヂヤアリマセヌ、自分自身モ誇ツテ居ル、サリナガラ唯熱ト光

ニ惠マレテ居ル、其ノ宣イ方ノ點ダケ見テ
惡イ方ノ側ト云フモノハ殆ド人ガ見ナイノ
デアリマス、是ハ實ニ臺灣島民ノ爲ニ私ハ
禍デアルト思フ、アノ暑イ所ニ行キマシテ
殊ニ暑サガ長イ、一日ノ暑イ時間ト云フモ
ノガ非常ニ長イ、ソレカラ一年ノ間ノ暑イ
期間ト云フモノガ非常ニ長イ、ソレデ鬼ニ
角彼處ヘ行キマスレバ、熱ノ災厄ヲ受ケテ
人ハ働コクトガ出來ナクナルノデアリマス
ソコデ働くテサウシテ耕ス者ニ鬼ニ角相當
ノ報酬ノアルト云フコトハ、私ハ之ニ向ツテ
アレハ好過ギルトカ云フヤウナコトヲ言フ
ノハ餘リ殘酷ダト思フ、サウ云フモノデヤ
ナイト云フコトヲ私ハ深ク感ズルノデアリ
マス、ソレカラ私ハ尙申上ゲタイコトハ、
兎ニ角臺灣ニ出張サレタ方々ナドガ、ドウ
云フ人ニ會ツテ御歸リニナルカト云フト、總
督府ノ御役人、ソレカラシテ彼處ニ居ル内
地ノ人々カラシテ聞カレルノデアリマス、
何時デモ之ニ對シテハデス、ドウ云フコト
ヲ聞クカト言ヘバ、臺灣ノ本島人ガ斯クノ
如ク繁榮シテ居ルト言ヒマスカ、進ンデ來
ルト云フト、我々共ハ兎ニ角内地人ハ到底
此處ニ居テレナインダ、伺トカシテ之ヲ抑
へ付ケナレバナラヌト云フコトガ殆ド内
地人ノ、私ハ百分ノ百ト申ハシマセヌケレ

ドモ、殆ド大部分ノ人ガ常ニサウ云フノデアリマス、ソレガ大體アチラヘオイデニナツテ、皆サンガ御聞キニナル聲ナンデアリマス、然ラバデス、ソレ等ノ人ハ一體ドウシテ居ルノダト云フコトハ、ハ私餘リ是ハ批評ガヒドクナリマスカラシテ私ハ差控ヘマスケレドモ、兎ニ角先剥申シタヤウニ、米ナリト云フコトニ依ッテ、御推察ガ出來ヤウト思フノデアリマス、マア大體斯ウ云フコトデ臺灣ノ米作者ト云フモノバ、必ズシモサウ結構ナモノデナイト云フコトハ、大體御分リニナルコトト思ヒマス、ソコデ次ニ私ノ申シタイコトハ、今ノヤウニ此ノ臺灣ノ米穀管理案ナドト云フモノハ非常ナ無理ナモノデアルト云フコトハ、結局一番何處ニ集中スル……何處ニ一番大キナ意味ガアルカト云ヘバ、他ノ點デハ幸抱出來ルガ、一番無理ノ掛ルト云フコトハ、米一石ニ付テ二圓ヲ取上ゲルト云フコトハ、ドウシテモ斯様ナコトハアリ得ルコトデナイノデアリマス、私ハ此ノ案ノ出ル前ニ、一體ドウ云フモノガ出ルカト云フコトニ付テハ頻リニ私ハ聽イテ、臺灣總督ニモ私ハドンナモノヲ出スノダカ知ラシテ吳レロト云フコトニ付テハ隨分能ク話シタノデアリマスガ、

結局終迄話シテ吳レマセヌテシタ、サウシテ此ノ一石ニ付テ二圓取ルト云フコトノ案ヲ見テ、私ハ賣ハ非常ニビックリシタノデアリマス、私ハ最初ニハ矢張リ一種ノ管理案デアッテ、サウシテ丁度委託販賣ノヤウナ風ドモ、併シ委託販賣ノヤウニナルモノダト、斯ウ私ハ考ヘテ居ツタ處ガ、愈々發表サレテ見ルト云フト、此ノ一石ニ付テ二圓ヲ取上ゲラレルト云フコトニナツテ居ル、之ニ對シテハ色々ナ非難ガアリマス、厭ナ非難ガアリマス、厭ナ非難ガアルケレドモ、私ハ此處デ左様ナコトヲ申シタクナイ、一體斯ウヲ私ハ隨分多クノ人ニ聽キマシタ、農政學者ナドニモ、君等ハ知ツテ居ル筈ダカラシテ、之ニ似寄ッタヤウナヤリ方ト云フモノガアルカト云フコトヲ私ハ頻リニ聽イタ處ガ、不幸ニシテ私ノ號イタ日本ノ大農政學者ハ知ラヌト言ヒマス、私今デモマダ探しテ居リマスケレドモ、ツイ、サウ云フモノガアルノダト云フコトヲ言ツテ吳レル人ハアリマセヌ、一體或種類ノ農作物ヲ作ル力ラシテ、ソレデ其ノ作ツタ收穫物カラシテ其ノ賣上高ノ何分ノ一トカ云フモノヲ兎ニ角

トシテ出來マスカ、早イ話ガ兎ニ角九州ト東北トヲ較ベレバ、同ジ勞力ヲ以テ同ジ面積ヲハ三倍収益ガアラウト思フ、デアルカラシテ、九州ノ農家カラシテ一石ニ付テ五圓宛徵收スル、取上ゲルノダト云フコトヲシテ、果シテ九州ノ農家ハ之ヲ容レマスカ、又同ジヤウナ立場ニアル朝鮮ノ農家ニ付テ同ジヤウナコトヲヤリマシタラ、朝鮮ノ農家方之ヲ容レマスカ、私ハ左様ナコトハ到底出來ナイト思ヒマス、ソレカラ今ノハ地域的ニ私ハ考ヘタコトデアリマスガ、今度ハ種類ニ付テモ米ニ付テ二圓取ルト言フガ、然ラバ麥ニ付テ一圓取ル、斯ウ云フコトヲ言ツテ、ソレデ又麥ヲ作ル人間ガ之ヲ承知シマスカ、左様ナコトハ到底何處ノ世界ニモ、何處ノ歴史ニモアリ得ナイコトダト思フ、斯クノ如キ無理ナコトガ一體ナゼ必要カ、ソレカラ貴族院ノ速記録モ見マシタ、此處デ政府ノ御答辯モ伺ヒマシタケレドモ、何ニモ答辯ニナッテ居リマセヌ、斯様ナコトガ一體ドウシテ行ハレルカ、私ハドウシテモ是ハ解スルコトガ出來マセヌ、ソレカラ又モ

農民ノ收入ノ非常ニ減ルノ
テ惡影響ガアルヂヤナイカト云フコトヲ言
フト云フト、何ト言フカト云フト、臺灣ノ
農民ハ大變ニ懷口工合ガ良イノダ、良イカ
ラシテ、ソレデニ圓宛取ラレテモ幸抱シタ
ラ宜カラウ、マア斯ウ云フ意味ノコトヲ言
ハレルノデアリマスケレドモ、一體或人ハ
米ノ値下リガ來タト思ッタラバ、サウスレ
バ兎ニ角蹄メルコトガ出來ルヂヤナイカト
云フヤウナ、有力ナ方ノ原業賛成ノ御意見
ガアリマシタ、一體サウ云フコトハ、物
ハ値下リガ來タト云フコトト、自分ノ物ハ
三十圓デ賣レタケレドモ、二十八圓ヨリ
渡サナイト云フコトト、ソレヲ同ジヤウニ
考ヘラレル、ソンナコトハ唯言フダケノ話
ナンデ、サウ云フコトガアリ得ルコトデハ
ナイノデアリマス、デ、我々ガ兎ニ角此ノ
臺灣ノ管理案ト云フモノヲ見マスト云フ
ト、農民ノ受ケル……何ト言フカ、減收ト
言ヒマスカ、損害ト言ヒマスカ、非常ニ大
キナモノダト思ヒマス、兎ニ角米デ以テカ
ラニ少クトモ二千萬圓ハ減收シマス、砂糖
デ恐ラク五百萬圓、其ノ外ニ農產物ハ皆之
ニ準ジテ下ル、ソレカラ地價ハ下ル、兎ニ

キナモノガアリマス、ソレガモニ有臺灣農民ノ心持ニドンナ風ニ映ズルカト云フコトハ、私ガ彼此言ハナクテモ無論分ルコトデアル、斯ウ私ハ思ツテ居リマス、我々ハデス、此ノ日本ノ臺灣統治ト云フモノハ非常ニ立派ニ出來テ居ッテ、兎ニ角異民族統治ト云フコトニ付テハ、日本ガ私ハ世界ニ誇リ得ルトス様ニ信ジテ居ル、能ク出テ來マスケレドモ、兎ニ角「イギリス」ガ「インド」ト云フ植民地ヲ統治スルト云フヤウナコトハデス、是ハマルキリ我ガ臺灣ニハ適用シヨウモ何モナイノデアリマス、彼等ハ植民地ト云フモノハ、是ハ搾取スベキモノニアル、斯ウ云フ考へ方ヲシタ、例ヘバ「クラインド」會社ガ頻リニヤッタ、例ヘバ「クライヴ」トカ、「ヘスチング」トカ云フ連中ガヤツタ時ノ考へ方ト云フモノハ、兎ニ角植民地ト云フモノハ搾取スベキ目的物、斯ウ云フ考へ方、「ヨーロッパ」流ノ植民政策ト云フモノハ大體サウ云フ風ニ出來テ居ル、ソラナモノハナデス、我々ノ我ガ領土臺灣、朝鮮ナドニ適用サレテ堪ツタモノデヤアリマセヌ、兎ニ角是ハ日本ノ領土デアル、純然タル領土デス、サウシテ國民ハ齊シク陛下ノ赤子デアリマス、我々ハソレニ對シテハ裏モ表モアルベキモノデハナイ、兎ニ角齊シ

臺灣ノ本島人デモ、兎ニ角若シヤ非常ニ所謂皇澤ニ浴シテ、サウシテ生活ガ向上スルト云フコトデアルナラバ、我々ノ同胞デアリ、陛下ノ赤子ノ生活ガ向上スルト云フコト、喜ブベキコトデアッテ、何モ之ニ對シテハ今ノ「ヨーロッパ」流ノ植民政策ニ考ヘルヤウナ、ソンナコトハアルベキ筈ガナイ、私ハ少クトモ臺灣ニ付キマシテハ、是ハ決シテ「ヨーロッパ」デ言フナラバ「イギリス」ノ「アイルランド」ト云フヤウナモノニナルノデハナクテ、私ハ第一ノ沖繩縣ニナルノダト、斯ウ云フコトヲ深ク信ジ、必ズ出來ルノダ、ソレハ時ニ何時カ分リマセヌケレドモ、兎ニ角相當年月ハ要リマセウ、要リマセウガ、必ズ出來ルノダ、處ガ「ヨーロッパ」ノ植民學者ト云ヒマスカ、殖民政策學者ハ何ト言ツテ居リマスカト云フト、殖民地ト云フモノハ必ズ去リ行クモノダ、果物ノ熟スレバ落チルガ如クニ去リ行クモノダト、斯ウ云フ建前デ居ルノデス、私共ハソレハ全ク違ツテ居ル、時ハ何時ト云フコトハ我々ハ言フコトハ出來ナイケレドモ、是ハ必ズ完全ナル日本ノ領土ニナル、完全ナル日本人ニナルノダト云フコトヲ深ク信ジテ居ルノデアリ

角統治シタ結果ハドウカト云フト、日ニ日本國民ニナ
リツヽアルノデアリマス、是ハ世界ニ向ッテ
私ハ誇ルベキ成績ヲ擧ゲテ居ルト思フノデ
アリマス、今度ノ此ノ所謂管理案ニ依リマ
シテ私ハ非常ニ悲シムノデアリマス、デ
斯様ナコトヲシテ私ハ世界ニ對シテ誠ニ恥
カシイ、ソレカラシテ今ノ通リ帝國ガ今現
ニ東亞ノ新秩序ノ建設ト云フヤウナコトヲ
致シテ居ル時ニ、其ノ時ニ此ノ臺灣島民
ノ統治ト云フコトニ付テ、ソレガ一體支
那人ニドンナ影響ガ及ブグラウ、實ニ深
イ私ハ憂ニ堪ヘナイノデアリマス、私ハ
此ノ臺灣ノ統治問題ト云フコトニ付テ深
ク關心ヲ持ッテ居リマス、ソレ故ニ私ハ
ドウカシテ此ノ問題ヲ議會ノ問題ニシタ
クナイト云フコトヲ私ハ熱心ニ努メタノ
デアリマス、私ハ最近ノ例ヘバ齋藤總理
大臣、岡田總理大臣、近衛總理大臣ト云
フヤウナ方々、ソレカラシテ拓務大臣
トシマシテハ、現ニ御出席ニナッテ居リマス
ル八田拓務大臣、其ノ前ノ宇垣拓務大臣、
其ノ前ノ大谷拓務大臣、其ノ前ノ岡田拓務
大臣、岡田君ガ兼任デアリマシタカラ……、
是等ノ人ニ向ッテハ私ハ熱心ニ鬼ニ角臺灣

ソレカラ臺灣總督ニモ非常ニ御忙シイ暇ヲ私ハ割イテ戴キマシテ、サウシテ熱心ニ此ノ統治問題ヲ説キマシタ、今ノ現小林總督ノ如キニモ私ハ二度、非常ナ御忙シイ時間ヲ割イテ戴キマシテ、統治問題ヲ兎ニ角說イテ、ソレカラ米穀問題ニ及シ得タ御賴ミシタノデアリマス、ソレハ何故カト云ヘバ、此ノ問題ト云フモノガ議會ノ問題ニシテ、サウシテ議會カラシテ殊ニ本會議ノ席上カラシテ叫ブト云ワヤウナコトハ、決シテ私ハ日本ノ爲ニ宜イコトデヤナイト思フ、何トカシテ是ハサウ云フコトデナクシリタイト云フコトヲ私ハ歎望スル餘リ、ドウカシテ之ヲ議會ノ問題ニシタクナイト云フノデ、アラム限リノコトハ私ハ努力致シマシタ、處ガ不幸ニシテ遂ニ斯ウ云フ風ニ來マシテ、サウシテ私ガ斯様ナコトヲ申サナクチヤナラスト云フコトハ、私ハ深ク實ハ悲シムノデアリマス、私ハ昨日特別會計ノ本會議ニ於テ反對論モ何モセナカッタ云フコトハ、本會議ノヤウナ公開ノ席デ斯様ナコトヲ言フコトハ私ハ宜イトハ思ヒマセヌ、色々ナコトモゴザイマスケレドモ、ソレデ私ハ特ニ此ノ委員會ヲ選ンダ譯デゴザイマス、非常ニ會期切迫ノ際、御聽キニナック皆サンニハ誠ニ御迷惑デ相濟マスト云フ

コトヲ私ハ深ク感ジマスガ、ドウゾ御寛恕
ゴザイマセヌカ
ヲ願ヒタイト思ヒマス
○委員長(伯爵酒井忠正君) 他ニ御質疑ハ
○絲原武太郎君 簡單ニ伺ッテ置キタイト
思ヒマス、本法案ノ第四條並ニ第十九條ノ
發動ノ命令事項ハ、共ニ最モ重要ナル命令
デアリマスガ故ニ、其ノ立法ノ精神ヲ本委
員會ニ於テモ改メテハッキリ伺ッテ置キタイ
ト思ヒマスガ故ニ、此ノ點ニ付キマシテノ
御説明ヲ御願ヒ致シマス
○政府委員(周東英雄君) 本法案ガ施行致
サレマスルト、其ノ眼目ト致シマス所ハ度
度繰返シテ申上ゲマスヤウニ、先づ市場ノ
統制デアリマシテ、米穀市場ヲ單一ノ經營
主體ニ致シマシテ、此處ニ米穀ノ主流ヲ集
メテ、其ノ取引價格ニ於キマシテハ米穀統
制法ノ第二條ニ於ケル最高、最低ノ價格ノ
範圍内ニ於テ定メタ價格ニ準據シテ取引ヲ
サセルト云フヤウナ方法ヲ執ルコトニ致シ
マシテ、米穀ノ配給ノ圓滑ト適正ノ價格ノ
統制ヲ圖リタイト云フコトガ眼目デゴザイ
マス、然ルニ此ノ事ハ大體供給サレル米穀
ノ數量等ニ比較的不安ノナイ時ニヘ、是デ押
シテ参レルカト存ジテ居リマス、現在ニ於ケ
ル供給ノ數量等カラシマシテモ、サシテ或ハ

必要ガナイデヤナイト思ヒマスルガ、
今後ノ米穀事情ノ變化ト云フヤウナモノ
モ、相當測リ知レナイモノガゴザイマスル
シ、殊ニ今後ニ於ケル作柄如何ト云フヤウ
ナ問題、或ハ色々々經濟事情ノ變遷ニ依リ
マシテ、消費ノ變化ト云フヤウナコトガア
リマシタ時ニ、冀フ所デハゴザイマセヌガ、
或ハ供給ガ非常ニ窮屈ナ狀態ガ起ルト云フ
ヤウナコトガアリマシタ場合ニ、時ニ此ノ
市場員ニ對シテ、市場ニ依ッテ原則トシテヤ
ラセルコトニナッテ居リマスガ、或ハ賣
惜ミトカ、買占ト云フヤウナコトガ出テ、
或ハ時ニハ市場ノ操作トシテドット市場
ニ餘計出シ、或ハ出サナイ、斯様ナコトニ
依リマシテコチラノ所期スル目的ニ反
スルヤウナ場合ニ於キマシテハ、先づ今御
話ク第十九條ニ對シマシテ、市場員ニ對シ
マシテ其ノ出荷ヲ命令シ、或ハ市場ニ變動
ヲ及スヤウナ數量ノ一時出荷ヲ止メタリ、
色々々ナコトノ必要ガ起ツテ參リマスカト思
ヒマス、大體ニ於キマシテハ先づ市場ニ米
ヲ流スベキ責任ヲ持タシテ居ル市場員ニ
付キマシテ、統制ニ必要ナ命令ヲ出シマス
ガ、是等ノコトヲ致シマシテモ尙且不十分
デアリマシテ、色々々市場ニ於ケル偏在ト
カ、或ハ價格ニ付キマシテモ市場ニ於ケル

價格ノ統制ガ取レナイト云フヤウナコトニ
ナリマスレバ、殊ニ第四條ニ於テ米穀ノ配
給業者、必ズシモ米穀ノ市場員トハ申シマ
セヌガ、配給業者トシテ更ニ極端ナ場合ガ
起キマスレバ、地主等ニ對シマシテ價格ヲ
統制シマシテ出荷ヲ命ズルトカ、或ハ米ノ
出荷先ヲ統制シテヤルトカ云フヤウナ命令
ヲ下シテ行クコトニ相成ルカト存ジマス、
併シナガラ是ハ何處迄モ傳家ノ寶刀トシ
テ、極端ナル場合ニ之ヲ發動サシテ行ク
ト、斯ウ云フ風ナ積リデ居ルノデゴザイマ
ス

○絲原武太郎君 能ク了解致シマシタ、私
ノ質問ハ是デ終リマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 他ニ御質問ゴ
ザイマセカ……御質問ガナケレバ大體質
問ハ之ヲ以テ終了シタト云フコトニ致シテ
御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵酒井忠正君) 御異議ナイト
認メマス、ソレデハ討論ニ入リマス

○内田重成君 本案ハ米穀關係諸問題ノ解
決ニ大ナル關係アルノミナラズ、延イテハ
農林、商工兩省ノ機構ニモ將來重大ナル檢
討ヲ必要トル事情ノ發生ヲモ示唆スル程
ノ重要法案デアリマス、兩院ニ於テモ詳密
ニ研究セラレテ、大體其ノ趣旨ヲ了解スル
コトヲ得マシタ、本法案提出ノ理由ハ、平
戰兩時ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミ、
食糧問題ノ解決ニ資スル爲、米穀配給機構
ノ大改革ヲアリス要アリトノ趣旨デアリマシ
テ、此ノ趣旨ノ下ニ政府ハ永年ニ亘リマシ
テ致サレタル絶大ノ御盡力ハ私之ヲ諒ト致
シ、由ツテ以テ出來上リマシタ本案ノ精神ヲ
配給ノ圓滑ヲ期スルコトガ出來ルノデア
ル、斯様ニシテ中間ノ轉賣買戻、又買戻ヲ

致シマス場合ニハ、米穀統制委員會等ノ機
關ニ付議致シマシテ、之ヲ發布致シタイト
思テ居リマス

○絲原武太郎君 能ク了解致シマシタ、私
ノ質問ハ是デ終リマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 他ニ御質問ゴ
ザイマセカ……御質問ガナケレバ大體質
問ハ之ヲ以テ終了シタト云フコトニ致シテ
御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵酒井忠正君) 御異議ナイト
認メマス、ソレデハ討論ニ入リマス

○内田重成君 本案ハ米穀關係諸問題ノ解
決ニ大ナル關係アルノミナラズ、延イテハ
農林、商工兩省ノ機構ニモ將來重大ナル檢
討ヲ必要トル事情ノ發生ヲモ示唆スル程
ノ重要法案デアリマス、兩院ニ於テモ詳密
ニ研究セラレテ、大體其ノ趣旨ヲ了解スル
コトヲ得マシタ、本法案提出ノ理由ハ、平
戰兩時ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミ、
食糧問題ノ解決ニ資スル爲、米穀配給機構
ノ大改革ヲアリス要アリトノ趣旨デアリマシ
テ、此ノ趣旨ノ下ニ政府ハ永年ニ亘リマシ
テ致サレタル絶大ノ御盡力ハ私之ヲ諒ト致
シ、由ツテ以テ出來上リマシタ本案ノ精神ヲ
配給ノ圓滑ヲ期スルコトガ出來ルノデア
ル、斯様ニシテ中間ノ轉賣買戻、又買戻ヲ

ニ贊成スル者デアリマス、但シ此ノ際私ハ
之ニ一ノ希望ヲ附スル者デアリマス、其ノ
ニ經過的措置トシテ、本法施行ノ際ニ存在
希望ハ米穀ノ圓滿ナル配給ヲ圖ル爲ニ、殊
ニ農林、商工兩大臣ニ於テ協議シテ出スコトニナリマスガ、サウ云フヤウ
ナ場合ハ萬ナイノデアリマシテ、之ヲ發動
尊重致シテ、衆議院ノ修正シマシタル本案

侯爵佐竹 義春君	農林省農務局長 小濱 八彌君
子爵梅小路定行君	農林省米穀局長 周東 英雄君
子爵米津 政賢君	商工省商務局長兼
子爵伊東一郎丸君	新倉 利廣君
子爵鍋島 直繩君	農林省農務局長 小濱 八彌君
子爵織田 信恒君	商工省商務局長兼
松村眞一郎君	新倉 利廣君
内田 重成君	農林技師 森 肆君
伊澤多喜男君	農林技師 森 肆君
塙本 清治君	農林技師 森 肆君
男爵中島久萬吉君	農林技師 森 肆君
男爵岩倉 道俱君	農林技師 森 肆君
男爵東郷 安君	農林技師 森 肆君
男爵稻田 昌植君	農林技師 森 肆君
倉知 鐵吉君	農林技師 森 肆君
有賀 光豐君	農林技師 森 肆君
瀧川 儀作君	農林技師 森 肆君
小林嘉平治君	農林技師 森 肆君
絲原武太郎君	農林技師 森 肆君
山上 岩二君	農林技師 森 肆君
國務大臣	說明員
商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君	
大藏大臣 石渡莊太郎君	
農林大臣 櫻内 幸雄君	
政府委員	
農林政務次官 松村 讓三君	

昭和十四年三月二十八日印刷

昭和十四年三月二十九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局